

業 務 概 要

—令和3年度のまとめ—

項 目		頁
1	京都学・歴彩館について	1
2	利用者、資料収集・所蔵状況（全体概要）	3
	利用者等の状況	3
	館蔵資料の収集・所蔵状況	4
3	京都学研究推進の主な取組	5
	海外若手研究員受入事業	5
	京都学デジタル資料閲覧	5
	文化資源発掘プロジェクトによる共同研究	6
4	展示、シンポジウム、講座等、情報発信の取組	8
5	大・小ホール・学習室について	22
6	京都資料総合閲覧室の利用状況	23
7	館蔵資料等の撮影と複写	30
8	資料の貸与	31
9	図書館間相互貸出	35
10	共催事業等	35
11	資料の収集・整理・保存	39
	図書資料	39
	行政文書	45
	文書の保存と複製資料の作成	45
	管理委託現物資料	46
12	調査	46
	行政文書	46
13	京都府行政文書修理事業	47
14	図書館実習・インターンシップ	47
15	新聞掲載等	47
16	ウェブ提供サービスのまとめ	49
17	施設の状況	53
18	組織・職員数・業務分担・予算	53
19	令和3年度の主な活動	55
20	沿革	57
	(参考資料)	63

1 京都学・歴彩館について

○「京都学・歴彩館」とは

「京都学・歴彩館」は府民に京都の文化、歴史等に関する学習及び交流の場を提供するとともに、京都に関する資料等を収集して、保存し、さらに公開することにより、京都における文化の発展及び学術の振興に資するため設置された。京都は日本文化のふるさとであり、京都に関する歴史・文化の研究は、日本文化全体と大きく繋がっている。京都学・歴彩館では、京都や京都との関わりの中で成立・発展してきた特色を研究していくことを京都学ととらえ、これを推進・発信することで京都文化のさらなる発展を目指すことを目標としている。

「京都学・歴彩館」の名称については、新たな機能である京都文化の研究推進を「京都学」に込めている。そして、「順を追っていく」、「代々にわたる」といった意味を持つ「歴」と、色どりの美しさを表す「彩」により、文化や歴史の数々が時代を超えて輝きを放ち続け、次代へと受け継がれていくことを「歴彩」と表現している。

○京都学・歴彩館の建物について

建物は、京都府立大学の図書館や文学部研究室も同居する複合施設となっている。1階は交流フロアとして展示室や大小ホール、京都学ラウンジなどがあり、にぎわいと交流が生まれることを期待している。2階は探究フロアとして京都に関する各種資料や大学所蔵資料が閲覧できるよう約350席を設けた閲覧室があり、3・4階は府立大学文学部の研究室、演習室等が設置されている。

探究フロアの京都資料総合閲覧室にある図書資料は約2万冊で、京都の歴史・地理に関する資料や、京都府、府内市町村が発行した資料等を並べているほか、1階展示室で行う展示に関する「資料紹介コーナー」を設けるなど、館全体で一体となって交流・探究の場を提供している。

○京都学・歴彩館の取組等について

京都学・歴彩館の役割は三つあり、まず旧総合資料館でも行っていた京都に関する図書資料、古文書、行政文書、写真資料等約85万点の収集・保存・公開を進めること、京都所在の膨大な資料のデジタル閲覧を進めることである。二つ目は府内各地域の文化資源を発掘し、府内の大学・研究機関と連携しながら研究を深めること。三つ目は海外の研究者を招へいし、京都文化を研究してもらうこと。この三点を柱として交流・探究を進め、講演会やシンポジウムを通じて、「京都学」を発信していきたいと考えている。

平成28年12月に一部オープンしてから多くのイベントを開催しており、令和3年度においては、コロナ禍にあつて、「京都を学ぶセミナー」をはじめとする計69回の各種主催

講座を実施し、延べ約 4,700 人の参加を得た。

また、令和2年度から一部指定管理者制度を導入しており、指定管理者主催・当館共催による講座・展示等の事業も実施した。

これからも京都学・歴彩館の場所・人・資料などの資源を用いて府民の方へ様々な形で発信していきたい。そして、府民の皆さんが資料を手に取り、研究や調査を進め、その成果を発表したり、交流したりすることが出来る拠点としていきたいと考えている。

京都府立京都学・歴彩館 館長 金田章裕

2 利用者、資料収集・所蔵状況（全体概要）

（1）利用者等の状況

○1階（交流フロア）、2階（探究フロア）の利用者数等について

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和3年4月25日から5月31日まで、
令和3年8月20日から9月30日まで臨時休館

※開館時間の短縮及び利用人数の制限を実施

事 項		利用者数等	事 項	利用者数等
展示室		6,885人	出納件数	7,607件
京都学ラウンジ		3,126人	書庫の図書資料	6,475件
学習室		18,463人	古文書等	501件
大ホール		14,233人	行政文書	631件
小ホール		7,426人	相談件数	7,963件
2階 探究フロア (府立大附属図書館含む)		53,769人	資料の使用 (管理委託現物資料含む)	52件 214点
合計		103,902人	資料の利用 (管理委託現物資料含む)	123件 404件
			資料の複写	6,310件 115,032枚
			資料の館外貸与 (管理委託現物資料含む)	48件 384点(冊)
開館日数	260日 ※2階：259日	一日平均利用者数	400人	

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

(2) 館蔵資料の収集・所蔵状況

資料区分		令和3年度受払状況							累計 (令和4年 3月31日現在)
		受入					払出	計	
		購入	寄贈	取得	保管換 移 管 引渡等	計			
図書資料	図書資料	683	2,521	770	—	3,974	7	3,967	405,025冊
	その他 ^{※1}	—	—	—	—	—	—	—	1,728点
	小 計	683	2,521	770	—	3,974	7	3,967	406,753(点)
文書資料	古文書 ^{※2}	—	—	—	—	—	—	—	140,645点
	行政文書	—	—	—	3,712	3,712	—	3,712	98,014点
	写真資料	—	—	—	—	—	—	—	138,096点
	近代文学資料	—	—	—	—	—	—	—	23,788点
	その他	—	—	—	—	—	—	—	256点
	小 計	0	0	0	3,712	3,712	—	3,712	400,799点
^{※3} 管理委託 現物資料	美術工芸資料	—	116	—	—	116	—	116	11,514点
	歴史民俗資料	—	—	—	—	—	—	—	20,099点
	その他 ^{※4}	—	—	—	—	—	—	—	23,663点
	小 計	0	116	0	0	116	—	116	55,276点
合 計		683	2,637	770	3,712	7,802	7	7,795	862,828冊(点)

※1 版木ほか。

※2 古文書の受入点数は、1件を一括して1点としている。

※3 管理委託現物資料は、京都府京都文化博物館を運営する公益財団法人京都文化財団に管理委託した美術工芸資料等の現物資料である。(管理委託現物資料の一部は、中京区の京都府施設にて収蔵)

※4 吉川観方コレクション、江馬務コレクションほか。

上記に加え、京都関係パンフレット114冊をKパンフレットとして簡易整理し、総数2,746冊を「京の記憶アーカイブ」京都関係雑誌記事論文と共に検索できるようにしました。

3 京都学研究推進の主な取組

(1) 海外若手研究員受入事業

当館と覚書を締結した国内外の日本文化研究機関から推薦された優秀な外国人若手研究者を選考の上、「京都学研究員」として招へいし、研究支援を行う海外若手研究員受入事業については、コロナ禍の影響で、海外からの渡航が困難となり、受入決定済の2名の研究者の来日調整を進めたが、令和3年度は受入が実現していません。

覚書締結機関：計7（海外4・国内3）機関

- ・セインズベリー日本藝術研究所（イギリス）
- ・国立高等研究実習院（フランス）
- ・国立台湾大学文学院日本研究センター（台湾）
- ・南カリフォルニア大学（アメリカ）
- ・京都大学大学院文学研究科
- ・東京大学大学院人文社会系研究科日本文化研究専攻
- ・京都府立大学

なお、コロナ禍拡大直前に招聘が実現し、成果論文が未公表だった研究者（クリストファー・ヘイズ／イギリス、パベル・スミルノフ／ロシアの研究成果論文を「京都学・歴彩館紀要」第5号に掲載し公表しました。

(2) 京都学デジタル資料閲覧

当館では、平成29年2月5日に締結した公益財団法人陽明文庫及び東京大学史料編纂所との覚書に基づき、公益財団法人陽明文庫の協力により東京大学史料編纂所が作成した、陽明文庫が所蔵する近衛家伝来資料のデジタル画像約5万点の公開を平成29年4月27日から開始しました。

また、賀茂別雷神社所蔵資料のデジタル画像公開に関する覚書を令和3年5月13日に賀茂別雷神社と締結し、緊急事態宣言解除後の6月1日から試行的に一部資料（985点、3,556コマ）の閲覧供用を開始しています。

デジタル閲覧資料について、その後も、追加登録作業を行っており、現在、約6万コマの閲覧が可能です。

令和3年度閲覧利用の実績

閲覧利用延人数	90人
閲覧利用資料数	4,741件
閲覧ページ数	6,732ページ

（備考：令和3年4月1日～令和4年3月31日実績 令和4年4月25日～5月31日、令和3年8月20日～9月30日、新型コロナウイルス感染拡大に伴う臨時休館のため利用休止）

(3) 文化資源発掘プロジェクトによる共同研究

府内大学・研究機関との連携及び京都府域の文化資源発掘を目指し「京都府立京都学・歴彩館」プレ事業として平成27年度から開始した「文化資源発掘プロジェクト」では、第一段階の取組として「洛北の文化資源」にスポットをあて、府内大学・研究機関の研究者とともに研究会を発足し、共同研究に取り組みました。

当プロジェクトは、初年度に共同研究会を発足して研究を進め、2年目に共同研究会報告書を取りまとめるとともにその成果をもとにした一般書籍を刊行、3年目には各研究者に研究成果を発表いただくセミナーを連続シリーズで開催しています。

令和3年度においては、『京都を学ぶ【洛東編】』（令和2年度刊行）の内容を府民にわかりやすくお伝えする「京都を学ぶセミナー【洛東編】」を開催するとともに、「伏見の文化資源」共同研究会（令和2年度発足）の報告書を取りまとめ、『京都を学ぶ【伏見編】』を令和4年3月に刊行しました。また、新たに「宇治の文化資源」共同研究会を発足し、研究活動を開始しています。

洛東の文化資源共同研究参加メンバー（令和元～3年度）

（五十音順 敬称略 肩書は令和元年度時）

安達 敬子	京都府立大学文学部 教授
	平安物語と白河院 ー特に『夜の寝覚』末尾欠巻部をめぐってー
井上 えり子	京都女子大学家政学部 准教授
	宮川町の成立過程と近代化 ー花街の空間構成に関する研究ー
木立 雅朗	立命館大学文学部 教授
	登り窯の終焉と記憶をめぐる文化資源 ー五条坂・道仙化学製陶所の民俗考古学ー
佐野 静代	同志社大学文学部 教授
	無鄰庵に先行する琵琶湖疏水利用庭園と山県有朋の人脈による別邸群形成
西 弥生	種智院大学文学部 講師
	醍醐寺の桜会
増淵 徹	京都橘大学 教授
	大宅廃寺の再検討
本井 牧子	京都府立大学文学部 准教授
	橋弁慶伝承とその周辺 ー義経と弁慶との出会いー
吉江 崇	京都大学大学院人間・環境学研究科 准教授
	鴨東吉田地域における浄蓮華院の創建と「家」
川口 成人	京都府立京都学・歴彩館
	応仁・文明の乱後の足利義政政権と東山・北白川

吉岡 直人	京都府立京都学・歴彩館
	安祥寺僧恵運の入唐について－新しい入唐交通のもつ歴史的意義－

伏見の文化資源共同研究参加メンバー（令和2～4年度）

（五十音順 敬称略 肩書は令和2年度時）

國下 多美樹	龍谷大学文学部 教授
	遺跡からみた伏見深草地域の弥生文化－深草遺跡を中心に－
小林 大祐	京都文教大学総合社会学部 専任講師
	近世伏見の景観形成と変容に関する研究
谷 徹也	立命館大学文学部 准教授
	豊臣・徳川期の伏見城に関する研究
中村 貴子	京都府立大学大学院生命環境科学研究科 准教授
	伏見酒造蔵群における京都府産酒造用原料米の価値
橋本 章	京都文化博物館 学芸員
	伏見と巨椋池の生活文化
東 昇 片山 正彦	京都府立大学文学部 准教授
	枚方市鍵屋資料館学芸員・京都府立大学共同研究員
	淀川舟運と京街道の宿場町－伏見を中心に－
杉本 弘幸	京都府立京都学・歴彩館
	伏見義民と近代
寺嶋 一根	京都府立京都学・歴彩館
	江戸時代の御香宮－元禄・宝永期を中心に－

宇治の文化資源共同研究参加メンバー（令和3～5年度）

（五十音順 敬称略 肩書は令和3年度時）

家塚 智子	宇治市源氏物語ミュージアム 館長
	宇治を描く－歌枕から名所図へ－
上杉 和央	京都府立大学文学部 准教授
	宇治の古地図を利用した歴史地理学研究
清水 重敦	京都工芸繊維大学工芸科学部 教授
	宇治市小倉地区の茶業景観
杉本 宏	京都芸術大学日本庭園・歴史遺産研究センター教授・主任研究員
	平安期宇治別業群の実像とその文化資源性
藤井 孝夫	京都先端科学大学バイオ環境学部 特任教授
	雑誌「京都茶業（界）」発刊の時代背景とその意義

森 正美	京都文教大学総合社会学部 教授
	宇治のまちの資源をつなぐー社会変化に応える持続性の創造ー
川口 成人	京都府立京都学・歴彩館
	15世紀後半の宇治地域と武家勢力
中西 大輔	京都府立京都学・歴彩館
	江戸時代の巨椋神社を中心とした宇治の建造物調査

4 展示、シンポジウム、講座等、情報発信の取組

◆ 展示

○ 企画展

期 間	名 称	場 所	入場者数
令和3年 4月17日(土)～ 7月4日(日) (4/25～5/31は 臨時休館、6/9 は休館) [開場日数 41 日]	「魔よけとまじない」 ・ 展示品： 96 点 ・ 附帯事業：ギャラリートーク ・ 概要：京都府に所蔵されている資料の中から、京都にゆかりのものを中心に、魔よけやまじないに関わる品々を選びすぐって公開。また京都に今も息づく魔よけやまじないの伝統についても紹介	1階 展示室	<u>1,497人</u> (37人/日) ギャラリー トーク 4/22：45人 6/24：16人 7/2：15人
令和3年 7月17日(土)～ 8月19日(木) (7/22～23、 8/9、8/11は休 館) [開場日数 30 日]	京都府ミュージアムフォーラムー丹後から山城まで博物館大集合！「大正の京都」 ・ 展示品： 47 点 ・ 附帯事業： ギャラリートーク ・ 概要：丹後地域から山城地域までの京都府の歴史を、京都府ミュージアムフォーラム加盟館の所蔵品でたどる展覧会	1階 展示室	<u>1,133人</u> (38人/日) ギャラリー トーク 7/31：7人 8/19：21人
令和3年 10月2日(土)～	「リアルに甦る！吉川親方と風俗史考証の世界ーコレクションの写真を中心にー」	1階 展示室	<u>2,109人</u> (39人/日)

<p>11月27日(土) (10/13、11/10、 11/23は休館) [開場日数54日]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・展示品: 200点 ・附帯事業: ギャラリートーク ・概要: 京都に生まれた吉川観方は日本画家として知られているが、それ以上に風俗史研究者としての活躍に注目すべきものがあり、生涯にわたって膨大な風俗史資料を収集し、その成果を故実研究会や著書、展覧会、映画の時代考証、祭礼の考証などを通して発表するとともに、一大コレクションを築き後世に残した。本展では、同コレクションのガラス乾板(本展ではその紙焼き)写真を中心に、関連する現物資料を交えながら、全力を傾注して吉川観方が追い求めたリアルに甦る風俗史考証の世界を紹介 	<p>ギャラリー トーク</p> <p>10/21: 21人 10/28: 18人 11/18: 6人</p>
<p>令和3年 12月11日(土) ～令和4年 1月9日(日) (12/28～R4.1/4 は休館)[開場日 数22日]</p>	<p>「府大生∞歴彩館 コラボで探る京都学—京都府立大学の学生・大学院生が企画した歴彩館所蔵資料展—」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・附帯事業: 学生による展示解説(歴史学科) : 学生による成果報告会(歴史学科) ・概要: 文学部の各学科が、それぞれの特色を活かしたテーマで展示を企画し、学生が主体となって、歴彩館の資料を調査・研究し、キャプションを作成。 <p>日本・中国文学科「京の御伽草子」</p> <p>和食文化学科「京野菜」を盛りたてた人々」</p> <p>欧米言語文化学科「欧米人が見る古都の復興—第五代京都府知事 中井弘の役割を考える—」</p> <p>歴史学科「日本文化史研究」の成果発表 (「出産のかたち いま・むかし」、「上菓子屋が開いたカフェー」、「京の街に電気が流れる」、「京都と能」)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示解説集を配布 	<p>695人 (32人/日) 学生による 展示解説 (歴史学科)</p> <p>12/16: 36人 学生による 成果報告会 (歴史学科)</p> <p>12/23: 29人</p>

<p>令和4年 1月15日(土) ～3月6日(土) (2/9、2/11、2/23 は休館) [開場日 48 日]</p>	<p>京都学・歴彩館2つの文学資料－与謝野鉄幹・ 晶子、吉井勇とその時代－</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示品： 57 点 ・附帯事業：展示解説 ・概要： 京都学・歴彩館には「天眠文庫関係資料」と「吉井勇資料」という2つの近代文学資料があり、これら2つの資料群には、文学の動向にとどまらず、20世紀前半（明治末から昭和半ば）の京都、ひいては日本の世相をうかがい知ることのできる、作品・原稿・書簡等が数多く含まれています。本展では2つの資料群にある、小林天眠、与謝野鉄幹・晶子、吉井勇の関係資料を通じて、その時代の社会の社会像の一端を紹介 	<p>1,451 人 (30 人/日) ギャラリー トーク 1/27:29 人 2/5:7 人</p>
合計		6,885 人

○ 常設展等

- ・ 1階京都学ラウンジ常設展示 吉田初三郎 「京都名所大鳥瞰図」

・ ホワイエ、光庭展示

期 間	場 所	作家・作品名等
令和2年12月9日(水) ～令和3年6月9日(水)	光庭2	信ヶ原良和「イマジネーションを描く」
令和3年6月9日(水) ～令和3年10月12日(水)	光庭2	白鳥一晴「STREAM」
令和3年10月12日(水) ～令和4年2月9日(水)	光庭2	松下幸夫「記憶の中の形Ⅳ、奏でるⅡ-3、奏でるⅢ」
令和4年2月9日(水) ～令和4年6月8日(水)	光庭2	木下順「風の姿」

・ 1階京都学ラウンジ パネル展示

期 間	名 称	協 力
令和3年3月25日（木） ～4月28日（水） ※ただし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月24日から休室	府大生による…探検！発見！歴彩館－コラボで探る京都学－（4）	京都府立大学文学部 歴史学科
令和3年6月1日（火） ～7月1日（木）	京都府内の文化遺産—令和2年度指定・暫定登録等文化財について—	京都府文化財保護課
令和3年7月2日（金） ～8月3日（火）	府大生による…探検！発見！歴彩館－コラボで探る京都学－（5）	京都府立大学文学部 歴史学科
令和3年8月4日（水） ～8月31日（火） ※ただし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、8月20日から休室	伏見区誕生90周年パネル展	京都市伏見区役所地域力推進室
令和3年10月1日（金） ～10月31日（日）	発掘された京都の歴史パネル展	京都府埋蔵文化財調査研究センター
令和3年11月1日（月） ～11月30日（火）	生きた植物の博物館－京都府立植物園－	京都府立植物園
令和3年12月1日（水） ～12月27日（月）	府立大学ACTR（地域貢献型特別研究）研究成果パネル展	京都府立大学京都地域未来創造センター
令和4年1月5日（水） ～2月8日（火）	京都府の農産物～お茶とお花と京野菜～	京都府農産課
令和4年2月10日（木） ～3月10日（木）	京都の祭り・行事パネル展	京都市文化財保護課
令和4年3月11日（金） ～3月23日（水）	第10回子ども読書本のしおりコンテスト	京都府教育委員会 京都府図書館等連絡協議会

令和4年3月24日（木） ～5月15日（日）	府大生による…探検！発見！歴彩 館－コラボで探る京都学－（6）	京都府立大学文学部 歴史学科
---------------------------	------------------------------------	-------------------

・ 2階京都資料総合閲覧室前 パネル展示

期 間	コーナー名
令和3年4月15日（木） ～6月8日（火）	写真でみる1964年東京オリンピック聖火リレー
令和3年7月2日（金） ～7月13日（火）	京都府内の文化遺産 令和2年度指定・暫定登録文化財の写真展示
令和3年7月15日（木） ～8月19日（木）	「大正の京都 京都府ミュージアムフォーラム－丹後から山城まで博物館大集合！－」展関連資料紹介
令和3年10月1日（金） ～12月7日（火）	京都府内の文化遺産 令和2年度指定・暫定登録文化財の写真展示
令和4年3月11日（金） ～3月23日（水）	「第10回子ども読書本のしおりコンテストの作品展」 (主催：京都府教育委員会・京都府図書館等連絡協議会) ※京都学ラウンジと2カ所で開催

◆ 講演・シンポジウム

○ 展示関連講演

年月日	内 容・講 師（敬称略）	参加者数
令和3年 9月4日（土）	「令和3年度京都府ミュージアムフォーラム合同展覧会 －丹後から山城まで博物館大集合！「大正の京都」－」記念講演 共催：京都府ミュージアムフォーラム ○講演 国際日本文化研究センター 所長 井上章一 「京都で地名を考える」	新型コロナ ウイルス感染症 の感染拡大により 中止

<p>令和4年 2月19日（土）</p>	<p>「京都学・歴彩館2つの文学資料—与謝野鉄幹・晶子、吉井勇とその時代—」展講演会</p> <p>○講演</p> <p>元慶応大学教授 田坂 憲二</p> <p>「与謝野晶子・吉井勇と『源氏物語』」</p> <p>静岡県立大学国際関係学部教授 細川 光洋</p> <p>「人生の残夢春秋——日記から見る吉井勇と京都」</p>	<p>新型コロナ ウイルス感 染症の感染 拡大により 中止</p>
--------------------------	---	---

○ その他シンポジウム

年月日	内 容	参加者数
<p>令和3年 12月25日（土）</p>	<p>地域の歴史を学び未来へ伝えるシンポジウム「戦争の記憶を記録し、未来へ伝える」を実施</p> <p>第一部 地域における活動の事例報告</p> <p>「戦争と銃後のくらし展・しもぎょう」実行委員会 森野 修一</p> <p>「「1945年五条通建物強制疎開復元の図」作成の経緯」</p> <p>京都女子大学文学部教授 坂口 満宏</p> <p>「京都・馬町空襲 —学生たちと作った被害地図—」</p> <p>舞鶴引揚記念館館長 山下 美晴</p> <p>「引き揚げの記憶 —次世代による継承—」</p> <p>第二部 ディスカッション</p> <p>コーディネーター：京都府立京都学・歴彩館顧問 井口 和起</p> <p>パネラー：第一部の報告者</p> <p>・小ホールにて、各団体の関連資料の展示を実施</p>	<p>85人</p> <p>大ホール 小ホール</p>

◆ 講座

○ 京都を学ぶセミナー「洛東編」

「洛東の文化資源」研究プロジェクトの成果を分かりやすく解説する「京都を学ぶセミナー【洛東編】」を開催しました。

年月日	内 容・講 師（敬称略）	参加者数
令和3年 7月29日（火）	<第1回> 講演 京都大学大学院准教授 吉江 崇 「吉田と称す公家と中世の吉田地域」	194人 大ホール
令和3年 10月17日（日）	<第2回> 講演 種智院大学准教授 西 弥生 「醍醐寺の桜会」	116人 大ホール
令和3年 11月2日（火）	<第3回> 講演 京都女子大学教授 井上 えり子 「宮川町の成立と近代化」	152人 大ホール
令和3年 11月17日（水）	<第4回> 講演 京都府立大学教授 本井 牧子 「牛若丸と弁慶との出会い—イメージの痕跡をたどる—」	187人 大ホール
令和3年 12月13日（月）	<第5回> 講演 京都府立大学教授 安達 敬子 「白河院と平安朝物語—天狗譚との関わりを中心に—」	195人 大ホール
令和4年 1月19日（水）	<第6回> 講演 立命館大学教授 木立 雅朗 「登り窯の受難—清水焼と五条坂の戦中戦後—」	156人 大ホール
令和4年 2月22日（火）	<第7回> 講演 京都橘大学教授 増淵 徹 「古代の山科と大宅廃寺」	195人 大ホール

○ 国際研究集会

東京大学史料編纂所「天皇家・公家の「知」の体系としての文庫・宝蔵研究拠点創設」プロジェクト、科学研究費・基盤研究（S）「天皇家・公家文庫収蔵史料の高度利用化と日本目録学の進展—知の体系の構造伝来の解明」（研究代表者：田島公〔東京大学史

料編纂所教授〕）、科学研究費・基盤研究（B）「古代東アジアにおける建築技術体系の構造伝来の解明」（研究代表者：海野聡〔東京大学大学院工学系研究科准教授〕）との合同主催で実施しました。

年月日	内 容・講師等（敬称略）	参加者数
令和3年 12月18日（土）	<p>御所（宮殿）・邸宅造営関係資料の地脈と新天地</p> <p>午前の部：発掘調査の成果・文献史料の見直し・復古建築との比較による平安期の宮殿（内裏・里内裏）・寺院造営の最新研究</p> <p>○報告</p> <p>東京大学史料編纂所教授 田島 公 「趣旨説明」</p> <p>京都大学名誉教授 西山 良平 「平安宮宮城図と出土木簡・墨書土器」</p> <p>宮内庁書陵部編修課研究官 詫間 直樹 「後三条・白河朝における造営事業の特質―方角禁忌からみた里内裏と御願寺の関係―」</p> <p>宮内庁京都事務所管理課文化財研究室研究職職員 満田 さおり 「京都御所にみる復古の建築空間とその使われ方」</p> <p>午後の部：宮内庁書陵部図書寮文庫所蔵「中井家文書」の新知見と東アジア建築生産史と工匠史料の展望</p> <p>○報告</p> <p>東京大学大学院工学系研究科准教授 海野 聡 「趣旨説明」</p> <p>I部 区隊長書陵部図書寮文庫所蔵内匠寮本「中井家文書」を中心とした近世内裏造営の研究</p> <p>東京大学史料編纂所准教授 新井 重行 「寛政度内裏造営に関する史料の紹介―承知帳・伺帳を中心―」</p>	62人 小ホール 内2人は 海外から ZOOM参加

	<p>東京大学大学院工学系研究科建築学専攻博士課程 萩原 まどか</p> <p>「安政度造営内裏の東北隅拡張工事とその見積書—御所の築地移築と有栖川宮家・中院家の移転—」</p> <p>東京大学大学院工学系研究科博士課程 園田 彩華</p> <p>「安政度内裏築地移築における基礎工事」</p> <p>東京大学大学院工学系研究科博士課程 横山 舜</p> <p>「安政度内裏造営史料にみる築地の架構と穴門について」</p> <p>東京大学大学院工学系研究科修士課程 斎藤 亘佑・ 三橋 宣貴</p> <p>「安政度内裏造営の瓦・金物にみる工匠の積算特性についての検討」</p> <p>Ⅱ部 東アジアにおける建築生産史と工匠史料</p> <p>北京大学助理教授 俞 莉那 ※ZOOM参加</p> <p>「中国の建築生産史・工匠に関する研究状況」</p> <p>明知大学校副教授 韓 志晩 ※ZOOM参加</p> <p>「韓国の建築生産史・工匠に関する研究状況」</p> <p>東京大学大学院工学系研究科准教授 海野 聡</p> <p>「近世日本の建築生産史研究と工匠関係史料の可能性」</p>	
--	---	--

○ 陽明文庫講座

本講座は令和4年2月5日（土）に開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止しました。

○ 京都学ラウンジミニ講座

毎週木曜日、小ホールにて、当館職員等が講師を務めるミニ講座を開催しました。

年月日	内 容	講 師（敬称略）	参加者数
令和3年 4月8日、 15日、22日	政治・文化・デモクラシー— 1920～30 年代普通選挙の社会史 —	京都学推進課 杉本 弘幸	132人

令和3年 7月1日、 8日、15日 29日	<p>京都府の文化財 最近のトピックス</p> <p>①<美術工芸>令和2年度京都府指定の美術工芸品—金光寺所蔵絹本着色愛染明王像を中心に—</p> <p>②<記念物>高度経済成長期の発掘調査と50年以上を経ての調査出土品の再評価—宇治市金比羅山古墳出土品の紹介を中心に—</p> <p>③<無形・民俗>コロナ禍における無形文化財の現状と課題</p> <p>④<建造物>古建築の屋根裏の世界</p>	<p>京都府文化財保護課</p> <p>①長谷川 貴信 ②古川 匠 ③向田 明弘 ④村田 典彦</p>	150人
令和3年 8月5日、 12日、19日 10月28日	<p>こんにちは京都市電—京都市電関係資料をひもとく—</p> <p>①“京都市電関係資料”の文化財指定について</p> <p>②京都市電の運転面の魅力を探る</p> <p>③重要文化財“京都電気鉄道電車（京都市交通局2号電車） 平安神宮所有”について</p> <p>④京都市電とまちづくり</p>	<p>①京都市文化財保護課 山下 絵美</p> <p>②京都市電関係資料調査会 加藤 幸弘</p> <p>③京都市電関係資料調査会 遠藤 晃一</p> <p>④京都市電関係資料調査会 大菅 直</p>	247人
令和3年 10月7日、 14日、 12月23日	<p>京都府立大学 共催特別企画</p> <p>①京都の庭園 空間構成と借景</p> <p>②京都の庭園 モダンデザインとアバンギャルド</p> <p>③大学の地域貢献と“関係人口”</p>	<p>①②京都府立大学生命環境科学研究科 福井 亘</p> <p>③京都府立大学公共政策学部 桂 明宏</p>	128人
令和3年 10月21日	室町時代の京都と大名	<p>京都学推進課</p> <p>川口 成人</p>	69人
令和3年 11月4日、 11日、18日 25日	<p>生きた植物の博物館—京都府立植物園のすばらしき世界—</p> <p>①植物園の至宝「大森文庫」</p> <p>②変化朝顔の魅力</p>	<p>京都府立植物園</p> <p>①小川 久雄 ②長崎 光司</p>	212人

	③シヨクダイオオコンニャクの園内初 開花について ④ナショナルコレクション認定へのあ ゆみ	③長田 伊佐那 ④山下 幸司	
令和3年 12月2日	「岩倉具視と米欧回覧」について	京都市歴史資料館 松中 博	64人
令和3年 12月16日	伏見—街道と舟運の交わる場所	館長 金田 章裕	135人
令和4年 1月6日、 13日、20日 27日	ヨイトマケとニコヨンの文化史	京都学推進課 杉本 弘幸	143人
令和4年 2月3日、 10日、17日 24日	江戸時代、武士の公務の旅—参勤交代 と京都御用—	京都学推進課 松浦 智博	201人
令和4年 3月3日、 10日、17日 24日	京都で見る西洋建築の意匠	京都学推進課 中西 大輔	219人

※12月16日開催分については大ホールで実施。5月、6月、8月26日、9月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

○ 日本名作映画上映会

府民の皆様だけでなく、日本在住・来日中の海外の方々にも日本映画を通して、京都や日本の歴史・文化に親しんでいただくため、国際交流基金と共催で英語字幕付の映画上映会を開催しました。

年月日	内容	参加者数
令和3年12月7日（火）	英語字幕付『三十三間堂通し矢物語』上映会と関連 資料紹介	207人 大ホール

なお、9月15日に開催予定していた『小早川家の秋』の上映会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

○ 資料に親しむ会

当館が所蔵する資料について、実際に資料を見ながら、当館職員が持つ知見をわかりやすく解説する講座を開催しました。

年月日	内 容・講師等（敬称略）	参加者数
令和3年4月13日（火）	画譜に親しむ ー江戸時代の絵手本・いろいろー 資料課 藤本 恵子	34人 小ホール
令和3年7月13日（火）	写真でみる東京オリンピック前後の京都 資料課 大瀧 徹也	40人 小ホール
令和3年10月12日（火）	終戦直後の資料に親しむ ー昭和21年(1946)を中心にー 資料課 白川 哲夫	33人 小ホール
令和3年11月9日（火）	江戸時代のレシピ 資料課 室 和	32人 小ホール
令和3年12月14日（火）	渋沢栄一ゆかりの資料に親しむ 資料課 柴田 容子	54人 小ホール
令和4年1月11日（火）	旧制中学校とスポーツ 資料課 大久保 秋実	20人 小ホール
令和4年2月8日（火）	映画館の上映ニュースに親しむ ー戦前京都の洋画 興行の紹介ー 資料課 藤原 直幸	37人 小ホール
令和4年3月8日（火）	画譜・図案集に親しむ ー明治時代のデザインブッ クー 資料課 藤本 恵子	41人 小ホール

○ 寺子屋講座

小中学生を主な対象としたワークショップを開催しました。

年月日	内 容	参加者数
令和3年7月27日（火）	寺子屋講座 和本を作ろう！ 資料課 楠 久美	15人 小ホール
令和3年8月10日（火）	寺子屋講座 歴彩館でボードゲームを楽しもう！ 資料課 藤原 直幸	17人 小ホール

○ 館外での講座（当館職員・敬称略）

年月日	演題・講師	会場等	参加者数
令和3年 8月14日（土）	「枚方東ロー宇治町間支線 計画 京都府庁文書に見る 戦前戦中の鉄道計画」 資料課 若林 正博	主催：枚方市立枚方宿鍵屋 資料館	40人
令和3年 8月20日（金）	「「和算」について」 資料課 藤原 直幸	主催：京都伏見ロータリー クラブ ホテルグランヴィア京都	30人
令和3年 10月8日（金）	「伏見の日本酒を歴史から 紐解く」 資料課 若林 正博	協力：川のみなとオアシス 水のまち京都・伏見運営協 議会 京阪シティモール天満橋	20人
令和3年 12月11日（金）	座談会「ボードケ好きの司書 は図書館×ボードゲームの 夢を見るか？」 資料課 藤原 直幸	主催：図書館総合展運営委 員会 オンライン	オンライ ン
令和3年 12月21日（火）	「稲荷へ！」 資料課 若林 正博	主催：京都市立稲荷小学校	30人
令和4年 3月24日（木）	「伏見港の歴史（みなとオ アシス）登録記念」 資料課 若林 正博	主催：京都伏見ロータリー クラブ ホテルグランヴィア京都	30人

◆ 資料紹介コーナー

当館主催の展覧会や講演会等に関連する所蔵資料を紹介するコーナーを設け、展覧会や講演会への興味を持ってもらい、また、理解を深めていただきました。

期 間	資料紹介コーナー名	関連事業	リスト 配布数
令和3年4月15日（木） ～4月24日（土） 6月1日（火） ～7月13日（火）	「魔よけとまじない展」関連資 料	当館展覧会	712
令和3年7月1日（木） ～7月30日（金）	「京都府の文化財～最近のトピ ックス～」関連資料	当館主催セミナー	169

令和3年7月15日（木） ～8月19日（木）	「大正の京都」関連資料	当館展覧会	374
令和3年7月21日（水） ～8月10日（火）	「京都を学ぶセミナー洛東編 第1回 吉田と称す公家と中世 の吉田地域」関連資料	当館主催セミナー	210
令和3年10月1日（金） ～12月7日（火）	「リアルに甦る！吉川観方と風 俗史考証の世界－コレクション の写真を中心に－」関連資料	当館展覧会	513
令和3年10月11日（月） ～10月24日（日）	「京都を学ぶセミナー洛東編 醍醐寺の桜会」関連資料	当館主催セミナー	280
令和3年10月25日（月） ～11月9日（火）	「京都を学ぶセミナー洛東編 宮川町の成立過程と近代化－京 の花街の空間構成－」関連資料	当館主催セミナー	220
令和3年11月11日（木） ～11月25日（木）	「京都を学ぶセミナー洛東編 牛若丸と弁慶の出会い－イメ ージの痕跡をたどる－」関連資料	当館主催セミナー	220
令和3年12月1日（水） ～12月15日（水）	映画「三十三間堂通し矢物語」関 連資料	当館主催上映会	316
令和3年12月9日（木） ～12月27日（月）	「京都を学ぶセミナー洛東編 白河院と平安朝物語－天狗譚と の関わりを中心に－」関連資料	当館主催セミナー	244
令和3年12月15日（水） ～12月27日（月）	館長特別ミニ講座「伏見－街道 と舟運の交わるところ」関連資 料	当館主催セミナー	65
令和4年1月5日（水） ～3月8日（火）	「京都学・歴彩館2つの文学資 料－与謝野鉄幹・晶子、吉井勇と その時代－」関連資料	当館展覧会	445
令和4年1月13日（木） ～1月31日（月）	「京都を学ぶセミナー洛東編 登り窯の受難－清水焼と五条坂 の戦中戦後－」関連資料	当館主催セミナー	243
令和4年2月10日（木） ～3月8日（火）	「京都を学ぶセミナー洛東編 古代の山科と大宅廃寺」関連資 料	当館主催セミナー	310
令和4年3月10日（木） ～4月12日（火）	京都の美術館と建築めぐり	（資料配付なし）	-

加えて、資料紹介リストを作成し、次の展覧会及び講演会等で配布しました。

- ・「京都学ラウンジミニ講座 <無形・民俗>コロナ禍における無形民俗文化財の現状と課題」
- ・「天橋立世界遺産講座」

◆ SNS

館のイベント情報、休館日や開館時間、京の記憶アーカイブの更新情報（お知らせ、資料ガイド等）、資料紹介や調査（レファレンス）事例、北山エリアの話題等を広く発信するため、平成31年4月22日からTwitterとFacebookを始めました。本年度は237件発信しました。

○ #京都あれこれ

ハッシュタグに「京都あれこれ」を付して投稿し、当館が所蔵する資料を紹介しました。本年度は『京羽二重織留』や『黒川翠山撮影写真資料』などを取り上げ、合計60回投稿しました。

5 大・小ホール・学習室について

ア 大・小ホール

新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和3年4月25日から5月31日まで、令和3年8月20日から9月30日まで臨時休館

イ 学習室について

令和3年12月から土日も開室 座席数は44席

年月	開館日数	学習室	大ホール	小ホール
令和3年4月	23日	1,315人	2,010人	444人
5月	0日	0人	0人	0人
6月	29日	992人	618人	251人
7月	28日	1,860人	1,546人	839人
8月	17日	1,812人	589人	316人
9月	0日	0人	560人	12人
10月	30日	1,473人	1,437人	1,118人
11月	28日	1,801人	2,678人	2,337人
12月	26日	2,081人	1,918人	651人
令和4年1月	25日	2,127人	1,271人	416人
2月	25日	2,331人	649人	502人
3月	29日	2,671人	957人	540人
計	260日	18,463人	14,233人	7,426人

6 京都資料総合閲覧室の利用状況

京都に関する専門的な調査研究のための閲覧室（207席）で、開架図書約2万冊を自由に利用できるほか、書庫内の図書資料、古文書、行政文書などが利用できます。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和3年4月25日から5月31日まで、令和3年8月20日から9月30日まで臨時休館

（1）京都資料総合閲覧室の利用状況

年月	開室日数	利用者数 (月単位)	出納の状況							
			図書（書庫資料）		古文書		行政文書		合計	
			件数	冊数	件数	点数	件数	点数	件数	点(冊)数
3年4月	23	5,271 (229.2)	571	2,897	36	256	31	193	638	3,346
5月	0	0 (0.0)	0	0	4	24	8	85	12	109
6月	29	5,049 (174.1)	714	3,237	61	522	74	560	849	4,319
7月	28	6,480 (231.4)	680	3,285	52	514	57	395	789	4,194
8月	17	3,366 (198.0)	411	1,952	26	278	52	431	489	2,661
9月	0	0 (0.0)	1	25	5	50	8	84	14	159
10月	30	6,235 (207.8)	850	4,442	65	1,018	96	814	1,011	6,274
11月	27	5,853 (216.8)	705	3,441	61	658	73	484	839	4,583
12月	26	5,441 (209.3)	723	3,476	66	698	66	358	855	4,532
4年1月	25	5,808 (232.3)	638	3,467	24	972	53	706	715	5,145
2月	25	5,305 (212.2)	572	2,200	52	1,104	50	264	674	3,568
3月	29	4,961 (171.1)	610	3,209	49	420	63	339	722	3,968
合計 (1日あたり)	259	53,769 (207.6)	6,475 (25.0)	31,631 (122.1)	501 (1.9)	6,514 (25.2)	631 (2.4)	4,713 (18.2)	7,607 (29.3)	42,858 (165.5)

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、次のとおり対応しました。

令和3年4月25日（日）～	臨時休館 ※遠隔サービスは継続（相談、複写受付など）
6月1日（火）～	再開館 ※17時閉館
7月1日（木）～	19時閉館に変更
8月20日（金）～	臨時休館 ※遠隔サービスは継続
10月1日（金）～	再開館 ※19時閉館

（2）資料に関する相談状況

所蔵資料の有効な利用を図るため、資料の利用案内や調査・研究の支援等の相談業務を実施しています。京都資料総合閲覧室カウンターでの相談のほか、電話・文書等による相談にも応じています。

ア 月別相談件数

年月	口頭	電話	文書 (電子メール含む)	合計
3年4月	481	120	35	636
5月	0	150	37	187
6月	519	142	51	712
7月	603	180	58	841
8月	326	141	79	546
9月	3	168	53	224
10月	686	136	67	889
11月	624	125	72	821
12月	587	125	96	808
4年1月	467	148	60	675
2月	512	130	83	725
3月	644	177	78	899
合計	5,452	1,742	769	7,963

令和3年度は、電子メールによる相談が増加しました。

（参考）令和3年度 文書による相談 769件（うち電子メール759件）

令和2年度 文書による相談 468件（うち電子メール459件）

イ 相談内容別の状況

	口頭	電話	文書	計
館利用案内	1,975	495	329	2,799
複写依頼	1,688	242	71	2,001
特定図書在所蔵調査	1,122	510	96	1,728
図書に関する書誌的調査	37	17	5	59
人名・地名等の読み方調査	20	12	49	81
人物・団体調査	50	32	27	109
内容調査	308	177	63	548
その他	252	257	129	638
計	5,452	1,742	769	7,963

ウ 相談事例

○京都府スポーツ賞の一つ「未来くん賞」創設の経緯が知りたい。ジュニア向けの賞のようだ。以前あった賞が、昭和 63 (1988) 年に開催された京都国体 (第 43 回国民体育大会) をきっかけに「未来くん賞」と名前が変わったのではないか。

【回答】

『京都府の体育・スポーツ、昭和 58-63 年度』（※各年に刊行されていた資料を当館で合綴したもの）の昭和 63 年度に掲載されている「京都にふさわしい国体をめざして－その特徴－」の p. 10 「5 府民スポーツの振興 (2) スポーツ振興の推進」に「未来くん賞の設置」の項目がある。

この中で「昭和 63 年からは府スポーツ賞の中に「未来くん」賞を設置し、小・中学生で将来にスポーツ活躍が期待できる子供たちに与えられることとなった。」と賞創設の目的が書かれている。

『京都府公報』によると、「京都府スポーツ賞表彰規程」が制定された昭和 57 年には、賞の区分は京都府スポーツ賞と特別栄誉賞のみであったが、昭和 63 年に区分が追加され、特別栄誉賞、功労賞、優秀賞、特別かがやき賞、かがやき賞、未来くん賞及びマスターズ賞となった。

○広沢池 (京都市右京区嵯峨) の横にある「児神社」(ちごじんじゃ・ちごのやしろ) の由緒について書かれている本はないか。

【回答】

『京都大事典』pp. 615-616 「児(ちご)神社」の項によると、児神社は遍照寺の開祖である寛朝僧正が長徳 4 (998) 年に亡くなった後、その死を嘆いて広沢池に身を投げた侍童の霊を祀ったものである。その侍童は文殊菩薩の化身であったとも言われる。

『京都府の歴史散歩、上』pp. 236-237 の「広沢池と遍照寺」の項で、『京都大事典』と同様の記載あり。この資料では「児(この)神社」としている。

『京都市の地名（日本歴史地名大系；27）』p.1068の「児社（ちごのやしろ）」の項で、神社の解説とあわせて、黒川道祐の著した「嵯峨行程」から、神社の由来を記した箇所を紹介している。

『史料京都の歴史，14 右京区』p.532の「僧寛朝の童子に由来する児社」項目で、『近畿歴覧記（嵯峨行程）』と『山域名跡志』（8巻）から、児神社の由来を記した文章を引用している。

○丹後（京都府北部地域）の「ばら寿司」について知りたい。

【回答】

以下の資料で、丹後のばらずしが紹介されている。いずれもカラー写真付き。

『三たん事典，第2巻「地域の食」編』p.4に、「ばらずし」が載っている。

この資料によると、ばらずしは冠婚葬祭やお祭り、家族の誕生日等に作られる料理で、もちをつく時に使うまつぶたにすし飯を詰めて、さばのそぼろを散らすことが丹後のばらずしの特徴である。

バラデツキというざるで、すし飯を交ぜたことから「ばらずし」と呼ばれるようになったという説が紹介されている。

まつぶたを使うことから、「まつぶたずし」とも呼ばれるという。

『なあんもないけど ちょっと あがって いきないな：綾部 昔ながらのわが家の味』p.12に、「鯖のそぼろ寿司」のレシピが掲載されており、ここでは焼さばが使われている。

『「京丹後」百寿人生のレシピ：今に生きる：長寿世界一 木村翁と百寿者の食事に学ぶ』pp.19-20に「丹後のばら寿司」のレシピが載っている。さばのおぼろを使うところが丹後の特色であること等の記述あり。

『聞き書 京都の食事（日本の食生活全集；26）』巻頭カラーページのp.13に、丹後のおぼろずしの写真、pp.256-257に、おぼろずしの調理法が載っている。

農林水産省のHPにある「見てみよう！日本各地の郷土料理」の「京都府 丹後のまつぶた寿司」のページでは、料理の解説とともに、「まつぶた」についての説明もある。

https://www.maff.go.jp/j/syokuiku/kodomo_navi/cuisine/cuisine4_2.html

(web ページの最終確認日：2022-04-15.)

○京都市内にある「洛陽天満宮 25 か所巡拝」の25カ所について教えてほしい。

【回答】

『京都大事典』p.973の「洛陽天満宮二十五社」の項で、菅原道真を祀る天満宮（天神）のうち、江戸中期の京都で著名であった25社をあげている。時代によって組み合わせは異なるとしている。

「近世京都における天神信仰 上・下」（『日本宗教文化史研究』15巻1号，2号に

所収の論文)にも、以下の資料を検討しながら、洛陽天満宮 25 か所巡拝に含まれる神社は年代によって異なることが書かれている。

(イ) 宝永 5 (1708) 年頃刊行の『都すずめ案内者』収録のリスト

(『新修京都叢書, 第 3 巻』 p. 89 「天神順参二十五ヶ所」)

(ロ) 北野天満宮所蔵「日記」文政 6 (1823) 年に記載のリスト

(『天満宮 (日本歴史叢書; 19)』の p. 223 に記載。)

(ハ) 昭和 11 (1936) 年「京都神社誌」所収のリスト

(『中部・近畿地方における天神信仰』の p. 222 に記載。)

「近世京都における天神信仰 上・下」ではこのうち、(イ)と(ロ)について実際に現地に行って調査した結果も記述している。

○幕末頃の京都の漢学塾を知りたい。何か資料はないか。

【回答】

『京都府教育史, 上』の「第 2 編 明治以前の京都教育」に「第 1 章 漢学とその教育」があり、pp. 125-151 で幕末頃の京都の漢学塾に関して記述している。

『幕末の京儒と漢学塾』で、幕末の京都の漢学塾について述べられており、pp. 367-379 には「明治初年京都府下漢学塾一覧」が掲載されている。

『日本教育史資料, 8』に「私塾寺子屋表」が掲載されており、pp. 190-224 に主に江戸時代から明治初期頃の間に関東府にあった私塾・寺子屋の名称、学科、所在地、開業・廃業年、教師数、生徒数等が載っている。

『平安人物志』の慶応 3 (1867) 年版の復刻版が『近世人名録集成, 第 1 巻: 地域別編 1』に収録されており、pp. 218-219 に儒家が載っている。

『京都市姓氏歴史人物大辞典 (角川日本姓氏歴史人物大辞典; 26)』の巻末付録「文献所見近世町人一覧」の pp. 838-845 に、「学者・儒者・和学者など」がまとめられている。

○水尾 (京都市右京区嵯峨) の柚子のことが記された江戸時代の資料はないか。

【回答】

『雍州府志』 (『新修京都叢書, 第 10 巻』 p. 443) に「柚」の項目がある。

当館では『雍州府志』の版本を所蔵しており、当館の資料・デジタル画像検索システム「京の記憶アーカイブ」で画像を公開している。

以下のリンクから閲覧でき (分冊番号: 6、コマ番号: 22)、「柚 所々ニ出ツ。嵯峨並ビニ水尾ノ有ル所、其の形大ニシテ味亦佳ナリ」と記載されていることが確認できる。

http://www.archives.kyoto.jp/websearchpe/detail?cls=152_old_books_catalog&pk ey=0000000342#1-25

『京師巡覧集』（『新修京都叢書、第11巻』p.232）の水尾の項で橘柚について言及されており、「この村橘柚多くして千夥万夥数を知らず」とある。

『毛吹草』諸国名物の山城畿内の項目中のp.161に「水尾柚」が掲載されている。当館で『毛吹草』の版本も所蔵しており、「京の記憶アーカイブ」の以下のページから閲覧できる（分冊番号：3、コマ番号：34）。

http://www.archives.kyoto.jp/websearchpe/detail?cls=152_old_books_catalog&pk ey=0000001869#1-11

（web ページの最終確認日：2022-04-15）

○石田梅岩の師・小栗了雲について知りたい。越後の高田藩のお家騒動に関わり、京に逃れてきたらしい。

【回答】

『京都市姓氏歴史人物大辞典（角川日本姓氏歴史人物大辞典；26）』p.213「小栗了雲」の項がある。それによると小栗了雲は、江戸中期の普化宗の僧と推定され、京都に隠棲して性理学・仏典・老荘の学問に通じて生徒を教授していた。石田梅岩と会い、梅岩の心学思想形成に影響を与えたことも書かれている。

『近世思想家文集（日本古典文学大系；97）』p.355に「この小栗了雲なる人物は、代々越藩の武士であったが、父正宗以来浪人し、京都に隠棲していた。梅岩より17歳の年長だが（略）」とあり。

『教育家としての石田梅岩』p.58に、梅岩の弟子・手島堵庵による了雲の小伝が載っており、「（中略）其先世為越藩大夫也。父正宗坐于其大宗美作之事。免而隠於京師也。（略）葬於京極永養寺中云。」と、先祖は越後藩の家老であったが、父の正宗の代に、小栗美作が起こした事（越後騒動）に連座して、京都に隠れ住んでいたことが書かれている。

p.59には、永養寺（京都市下京区）にある了雲の墓の写真が載っている。

「了雲は黄檗派の禅学を修めた人であるらしい。其の師は不二庵主禮柔禅師である。「不二座下 了雲全覚居士」とあり。」との記述あり。

インターネットで公開されている論文「石田梅岩の真髓と現代に伝承される石門心学」（「大阪経済法科大学地域総合研究所紀要」11号）p.21に、「なお、小栗了雲は、越後騒動で將軍綱吉より切腹を命ぜられた小栗美作の親族であり、京都で世を憚った生活を送っていた。かつて黄檗派の禅学を修めたとのことである」とある。

https://keiho.repo.nii.ac.jp/?action=pages_view_main&active_action=repository_view_main_item_detail&item_id=33&item_no=1&page_id=13&block_id=21

（web ページの最終確認日：2022-04-15）

* 当館では、回答した事例の中からピックアップし、国立国会図書館が運営するレファレンス協同データベース (<https://crd.ndl.go.jp/reference/>) に登録しています。当館で受け付けた相談事例の詳細は、上記より御覧いただけます。レファレンス事例の詳細検索画面から、検索項目：提供館名「京都府立京都学・歴彩館」で検索してください。

本年もこのデータベースに多くの事例を登録したことにより、昨年引き続き国立国会図書館長より御礼状の交付を受けました。

* 当館の資料を活用して調べものをしていただく際のガイドとして「調べ方ガイド」を作成しています。令和3年度には、「地図でまちの変遷を調べる～住宅地図編～」を新規公開しました。

エ 古文書相談

古文書相談は、古文書の解読、整理・保存等についての相談対応するものです。カウンターで随時対応したほか、手紙・メール等で寄せられた相談に対応しました。

オ 国会図書館デジタル化資料送信サービスの実施

平成27年11月12日から、国立国会図書館の提供するデジタル化資料送信サービスを開始しました。

利用申込件数	123
複写申込件数	105
複写枚数	3,045

(3) 管理委託現物資料

京都府京都文化博物館を運営する公益財団法人京都文化財団に管理委託している美術工芸資料等の現物資料については、調査研究のため特に必要な場合、特別観覧に供しています。詳細は次のとおりです。

番号	申請者の区分	資料区分	資料名	点数
1	個人	日本画	張月樵「宮本武蔵像」	1
2	個人	陶芸	太田垣蓮月「亀自画賛水指」ほか	9
3	個人	日本画	土佐光貞「定家詠十二ヶ月花鳥図」ほか	2
4	個人	日本画	谷口香嶠「養老孝子図」ほか	18
5	個人	日本画	池大雅「柳下童子図屏風」ほか	3
6	個人	その他	大橋松次郎コレクション絵葉書	9
7	個人	日本画	「飛鳥井雅威肖像」ほか	3
8	個人	郷土玩具	嵯峨面「魔除青鬼」ほか	5
9	個人	日本画	池大雅「白衣観音図」ほか	2
10	個人	寄託資料	「放下鉾胴懸」ほか	3
合計				10件 55点

7 館蔵資料等の撮影と複写

(1) 使用及び利用

館蔵資料等を調査研究、出版等に使用するため、撮影等を行う場合の使用申請と、出版物等への掲載等を行う場合の利用届があったのは次のとおりでした。

資料種別	使用		利用	
	件数	冊(点)数	件数	冊(点)数
図書資料	4	6	40	140
図書・雑誌	3	3	32	119
古典籍	1	3	8	21
文書資料	16	141	51	197
古文書	15	135	23	92
行政文書	1	6	26	98
写真資料	0	0	2	7
近代文学資料	0	0	0	0
管理委託現物資料	32	67	32	67
合 計	52	214	123	404

(2) 行政文書の自写(許可を得て利用者自身が撮影)の状況

1,096点 47,199枚

(3) 複写状況 (R3.4.1~R4.3.31)

複写種別		合計	
		件数	枚数
電子式複写	白黒	6,310	102,839
	カラー		5,234
(撮影)※			(17,612)
画像プリント			1,507
マイクロリーダープリンター			2,334
国会図書館デジタル送信資料用端末による印刷	白黒		2,371
	カラー		674
京の記憶アーカイブ及び館内閲覧端末での印刷	白黒		67
	カラー		6
合 計			6,310

※撮影は、複写枚数に含まない。

8 資料の貸与

本年度は、次のとおり、合計 48件、384点の貸与を行いました。

(1) 図書資料

	貸与先及び展覧会等の名称	資料名	点数
1	京都府立図書館 「「CONNECT ₂₁ 」 and DOMANI@京都」展	京都府立図書館 建築概要ほか	2
2	京都市京セラ美術館 開館1周年記念展「モダン建築の京都」	京都市廳舎改築 記念ほか	2

(2) 古典籍

	貸与先及び展覧会等の名称	資料名	点数
1	京都国立博物館 特別展「京の国宝 ～守り伝える日本のたから～」	撮影鑑	1
2	京都文化博物館 総合展示「京の盆踊り」	寶永花洛細見圖	2
3	京都市美術館 開館1周年記念展「コレクションとの対話：6つの部屋」	むかし渡更紗、繡 纈帖	6
4	南丹市日吉町郷土資料館 令和3年度秋季企画展「南丹の災害史 江戸時代から現在 まで ～体験と記録で学ぶ～」	年中行事大成：諸 國圖會	1
5	京都府立丹後郷土資料館 令和3年度特別展「“玉の輿” 大名家の栄光と苦惱 ～徳 川綱吉・桂昌院と宮津藩本庄松平家～」	翁草	1
6	愛媛県美術館 「平等院鳳凰堂と浄土院 その美と信仰」	源氏物語	5
7	龍谷大学文学部 2021年度龍谷大学文学部博物館実習十二月展「装いの美」	百人女郎品定、容 顔美艶考：當世化 粧ほか	8
8	静岡市美術館 「平等院鳳凰堂と浄土院 その美と信仰」	源氏物語	5
9	京都文化博物館 総合展示「鎌倉武士の物語と京都」	愚管抄、吾妻鏡、大 江廣元日記ほか	158
10	南丹市立文化博物館 令和4年度春季企画展「るり溪と南丹の名所」	丹波誌	1
11	新潟県立近代美術館 「平等院鳳凰堂と浄土院 その美と信仰」	源氏物語	5

(3) 古文書

	貸与先及び展覧会等の名称	資料名	点数
1	蒲郡市博物館 企画展「松平家ゆかりの文化財」	松平家資料	6
2	京都国立博物館 特別展「京の国宝―守り伝える日本のたから―」	東寺百合文書、京都皇居写真ほか	17
3	京都文化博物館 令和2年度2階総合展示「京の盆踊り」	平和家文書、三条衣棚町文書ほか	3
4	南丹市立文化博物館 企画展「鉄道と観光―地域をむすぶ交通―」	上野家文書	14
5	京都市京セラ美術館 開館1周年記念展「モダン建築の京都」	松室重光関係建築設計図	1
6	大山崎町歴史資料館 第29回企画展「大山崎神人と豊臣秀吉」	東寺百合文書	1
7	南丹市立文化博物館 芦生原生林100周年記念・令和3年度秋季特別展「森と共に生きる～知井地区を中心に～」	京都府地券掛旧蔵文書	13
8	南丹市日吉町郷土資料館 芦生原生林100周年記念・令和3年度秋季特別展「森と共に生きる～知井地区を中心に～」	西田村戸長役場文書	1
9	京都府立丹後郷土資料館 特別展「“玉の輿” 大家の栄光と苦悩―徳川綱吉・桂昌院と宮津藩本庄松平家―」	古久保家文書	2
10	南丹市立文化博物館 名勝指定90周年・令和4年度春季企画展「るり溪と南丹の名所」	上野家文書、藤野大吉家旧蔵資料	2
11	京都文化博物館 令和4年度2階総合展示「鎌倉武士の物語と京都」	東寺百合文書、下橋家資料ほか	18

(4) 行政文書

	貸与先及び展覧会等の名称	資料名	点数
1	京都国立博物館 特別展 京の国宝 ―守り伝える日本のたから―	布令書ほか	6
2	京都文化博物館 令和3年度・京都文化博物館総合展示戦後京都の「色」はアメリカにあった!	京都市明細図ほか	21

3	南丹市立文化博物館 令和3年度夏季企画展「鉄道と観光」	各公園一件綴ほか	10
4	京都府立丹後郷土資料館 令和3年度特別展「“玉の輿” 大名家の栄光と苦悩—徳川綱吉・桂昌院と本庄松平家—」	宮津藩政記録ほか	2

(5) 写真資料

	貸与先及び展覧会の名称	資料名	点数
1	京都国立博物館 特別展「京の国宝 - 守り伝える日本のたから - 」	黒川翠山撮影写真資料ほか	6
2	京都市京セラ美術館 開館1周年記念展「モダン建築の京都」	旧一号書庫写真資料	2

(6) 近代文学資料

	貸与先及び展覧会の名称	資料名	点数
	なし		

(7) 管理委託現物資料

京都府京都文化博物館を運営する公益財団法人京都文化財団に管理委託している美術工芸資料等の現物資料については、合計18件(62点)の貸与を行いました。

貸与先等は次のとおりです。

	貸与先	展覧会等の名称	部門	資料名	点
1	内閣府迎賓館京都事務所	京都迎賓館における貴賓の接遇のため	日本画	野々内良樹「緑映」	1
2	大津市歴史博物館	展覧会「大津のどうぶつ博物館」に出品のため	日本画	歌川豊春「見立女三宮図」ほか	3
3	京都府立京都学・歴史彩館	令和3年度京都府ミュージアムフォーラム合同展覧会-丹後から山城まで博物館大集合!-「大正の京都」に出品のため	歴史	双六「欧訪大飛行記念飛行遊戯」	1
4			陶芸	五代清水六兵衛「大礼磁唐草文花瓶」ほか	2
5	京都府文化スポーツ部文化芸術課	府民ギャラリー事業二役室展示のため	日本画	土農力「あまのはしだて」ほか	6
6	和泉市久保惣記念美術館	特別展「土佐派と住吉派 其の二」に出品のため	日本画	土佐光貞「定家詠十二月花鳥図屏風」ほか	4

7	福井県陶芸館	展覧会「ECHIEN BRAND 新しいやきものへの挑 戦」展に出品のため	陶 芸	色絵金彩唐人図三 足香炉	1
8	秋田市立千秋美術 館	展覧会「絵になる自然～ 生きとし生けるものへの 賛歌～」展に出品のため	日本画	幸野棹嶺「群魚図」	1
9	京都府文化スポー ツ部文化芸術課	府民ギャラリー事業二役 室展示のため	日本画	中村文子「峰山のこ んぴらさん」ほか	6
10	そごう美術館	展覧会「寿ぎのきもの ジャパニーズ・ウェディ ング-日本の婚礼衣装-」 に出品のため	風 俗	「女諸礼集」ほか	2
11	福田美術館	展覧会「木島櫻谷展」に出 品のため	日本画	木島櫻谷「鷹図」ほ か	4
12	笠岡市立竹喬美術 館	展覧会「歴史を旅する 谷口香嶠」展に出品のた め	日本画	谷口香嶠「養老孝子 図」ほか	9
13	名古屋市博物館	展覧会「大雅と蕪村」に出 品のため	日本画	池大雅「柳下童子図 屏風」ほか	3
14	京都府文化スポー ツ部文化芸術課	府民ギャラリー事業二役 室展示のため	日本画	大森正哉「黄金遙 想」ほか	6
15	京都府文化スポー ツ部文化芸術課	府民ギャラリー事業二役 室展示のため	日本画	畠中光享「引き上げ の港」ほか	7
16	八幡市立松花堂美 術館	展覧会「田島周吾 日本 画の世界」に出品のため	日本画	田島周吾「赤い布が いる家」	1
17	南丹市立文化博物 館	展覧会「るり溪と南丹の 名所」に出品のため	日本画	曲子光男「錦秋（瑠 璃溪鳴瀑）」ほか	2
18	そごう美術館	展覧会「寿ぎのきもの ジャパニーズ・ウェディ ング-日本の婚礼衣装-」 に出品のため	寄託資 料	「紅綸子地橘冊子 文様打掛」ほか	3
合計					18件 62点

9 図書館間相互貸出

(1) 府内公共図書館等平成4年7月に開始した府内の公共図書館等との図書の相互貸借については、21館、67冊の貸出し、3館、10冊の借受けを行いました。明細は次のとおりです。

貸借先館名	貸出冊数	借受冊数	貸借先館名	貸出冊数	借受冊数
京都府立図書館	18	8	亀岡市立図書館中央館	1	-
京都市中央図書館	10	-	南丹市立中央図書館	1	-
京都市右京中央図書館	4	-	京丹波町中央公民館図書室	1	-
京都市伏見中央図書館	-	1	福知山市立図書館夜久野分館	1	-
京都市洛西図書館	1	-	舞鶴市立西図書館	4	-
向日市立図書館	1	-	与謝野町立図書館	-	1
宇治市中央図書館	1	-	京丹後市立図書館丹後図書室	1	-
八幡市立八幡市民図書館	3	-	京都先端科学大学図書館	1	-
京田辺市立中央図書館	1	-	京都工芸繊維大学附属図書館	6	-
木津川市立中央図書館	1	-	仏教大学附属図書館	2	-
精華町立図書館	5	-	京都橘大学図書館	3	-
南山城村図書室	1	-			
			計	67	10

(2) 国立国会図書館等

昭和61年7月から国立国会図書館所蔵図書の借受け・閲覧サービスを行っていますが、令和3年度の借受利用はありませんでした。

10 共催事業等

○ 日本文化史研究1・2

京都府立大学文学部歴史学科の授業「日本文化史研究1・2」を当館にて実施しました。当館の所蔵資料を使ってグループ毎に設定したテーマで調査研究を行い、その成果発表の展覧会「府大生∞歴彩館 コラボで探る京都学」を当館の展示室で開催しました。

(授業期間：令和3年度前期(15回)・後期(15回)、受講者：13人、展覧会会期：令和3年12月11日(土)～令和4年1月9日(日))

○ 資料で親しむ京都学

京都府立大学、京都府立医科大学及び京都工芸繊維大学が設置する京都三大学教養教育研究・推進機構と連携した科目「資料で親しむ京都学(リベラルアーツ・ゼミナール)」を

開講しました。当館が所蔵する資料の価値や、利用・調査方法を講義しました。（期間：令和3年度後期（15回）、受講者：9人）

○「歴史文化体験」（京都府立鴨沂高等学校）

京都府立鴨沂高等学校の土曜授業「総合的な探究の時間・歴史文化体験」を当館にて実施しました。（令和3年11月6日（土）、12月11日（土）の2回実施。生徒は各13人、引率教諭、各1人）

授業では「女紅場から鴨沂高校へ—since1872の由来—」というテーマで、鴨沂高校の制服のボタンにある「since1872」の由来となった女紅場に始まり、京都府立京都第一高等女学校を経て、京都府立鴨沂高等学校となるまでの学校史を、京都学・歴彩館が所蔵する資料を見ながら学びました。

○ 講座・シンポジウム等

当館を会場に次の共催事業を開催しました。

事業名	年月日	主催・共催者	参加者数
古代宮都歴史散策事業講演会「平安京と嵯峨」	令和3年11月13日（土）	公益財団法人古代学協会	183人 大ホール
つなプロシンポジウム次世代と地域文化をつなぐミュージアムシンポジウム「街・自然歩きツアー体験発表」	令和3年12月19日（日）	KYOTO地域文化をつなぐミュージアムプロジェクト実行委員会	20人 小ホール
シンポジウム「京都銭湯美術館 アートde 銭湯 in 京都」	令和4年1月7日（金）	京都府公衆浴場業生活衛生同業組合	70人 大ホール

○ 指定管理者（コングレ・日本管財・丸善雄松堂共同事業体）主催事業（当館共催）

事業名	年月日	参加者数
新・京都学講座 鉄道企画	令和3年 4月11日（日）、7月3日（土）	89人、61人 大ホール
チェコのマッチラベルデザインと旅のお話し会	令和3年7月18日（日）	41人 小ホール
歴彩館こどもカレッジ 天文教室「夏の星空を見てみよう！」	令和3年 7月31日（土）、8月18日（水）	35人、30人 小ホール
歴彩館こどもカレッジ アート教室「とりモビールをつくってみよう！」	令和3年10月2日（土）	49人 小ホール

赤々舎 姫野希美 写真集の編集 体験講座	令和3年10月10日(日)	34人 小ホール
北山 BOOK FAIR2021 関連イベント 映画上映会「つつんで、ひらいて」	令和3年10月10日(日)	101人 大ホール
下鴨中通ブックフェア	令和3年10月10日(日)	769人 プロムナード
京都府立京都学・歴彩館ミニシンポジウム 「京都の近代と岡崎」図案(デザイン)発信の拠点として	令和3年10月16日(土)	48人 小ホール
八木 夕菜 Photogrphy Workshop	令和3年10月17日(日)、 11月14日(日)	40人、21人 小ホール
かみ添-講演会&ワークショップ	令和3年10月30日(土)	34人 小ホール
北山モザイク関連事業	令和3年 11月1日(月)~30日(火)	90人 大ホール、 小ホール他
SDGs ってなんだ！いまさら聞きづらいことを分かりやすく説明します	令和3年11月6日(土)	52人 大ホール
ママと子どもの知育ヨガ®レッスン@京都学・歴彩館	令和3年11月16日(火)、12月7日(火)、令和4年1月18日(火)	10人、6人、 16人 小ホール
新・京都学講座「舞鶴に海軍鎮守府がやってきた！」	令和3年12月4日(土)	102人 大ホール
お正月飾り 手作り講座	令和3年12月5日(日)	31人 小ホール
歴彩館こどもカレッジ 恐竜教室「恐竜博士にきいてみよう」	令和3年12月26日(金)	106人 大ホール
歴彩館こどもカレッジ 新春・手ぶらで書初め教室	令和4年1月8日(土)	52人 小ホール
新・京都学講座 新春 桂塩鯛 落語会	令和4年1月29日(土)	92人 大ホール
新・京都学講座 ~京都のまちかど近代史~仁丹 町名表示板の謎を追う	令和4年2月12日(土)	76人 小ホール
バンドー神戸青少年科学館連携 科学実験ショー！イロいろ楽しむ色の実験	令和4年3月19日(土)	56人 小ホール

歴彩館こどもカレッジ お絵描き教室「へんてこ食堂」	令和4年3月27日(日)	18人 小ホール
海の京都 上映会	令和4年3月27日(日)	46人 大ホール
京の映像上映会	令和3年度	346人 大ホール

○ 新聞連載

「京都新聞」(毎月第三土曜日朝刊、教育面)に、歴彩館所蔵の古典籍を紹介するコラム「遊びをせんとや」を連載。(京都府立大学教員と共同執筆)

No.	日付	内容	執筆者
134	令和3年4月18日	好色二代男諸艶大鑑	京都府立大学教授 藤原 英城
135	令和3年5月16日	貞丈雑記・年中行事大成	資料課 祖父江 長良
136	令和3年6月20日	日本國現報善惡靈異記	京都府立大学准教授 仁木 夏実
137	令和3年7月18日	巖嶋扁額縮本	京都府立大学教授 本井 牧子
138	令和3年8月15日	寶永花洛細見圖	資料課 加藤 大地
139	令和3年9月19日	真俗二点集 和漢朗詠集私註	京都府立大学准教授 藤本 灯
140	令和3年10月17日	一休はなし	資料課 田中 まさみ
141	令和3年11月21日	しぐれのえん	京都府立大学教授 安達 敬子
142	令和3年12月19日	容斎随筆	京都府立大学教授 小松 謙
143	令和4年1月16日	寛政御免大成矢数年代記 東山名勝図会	資料課 楠 久美
144	令和4年2月20日	新古今和歌集	京都府立大学准教授 竹島 一希
145	令和4年3月20日	景年花鳥画譜	資料課 藤本 恵子

「京都新聞」(毎月第四金曜日朝刊、地域プラス)「京の史新 学芸員の視点から」を連載。
(京都文化博物館学芸員と共同執筆)

	日付	内容	執筆者
10	令和3年4月23日	承久の乱 京方武士・後藤基清	京都文化博物館 長村 祥知
11	令和3年5月28日	恭仁京の東北道	副館長 森下 衛
12	令和3年6月25日	誓願寺門前図屏風 京都文化博物館所蔵	京都文化博物館 有賀 茜
13	令和3年7月23日	仮名墨書土器(藤原良相邸宅跡出土) =京都市中京区	京都学推進課 吉岡 直人

14	令和3年8月27日	京の盆踊り	京都文化博物館 橋本 章
15	令和3年10月22日	ヨイトマケの唄、ニコヨンの歌 －戦後京都の女性失対労働者	京都学推進課 杉本 弘幸
16	令和3年11月26日	洋画家・太田喜二郎 多彩な交流	京都文化博物館 植田 彩芳子
17	令和4年1月28日	室町武士の実名とは	京都学推進課 川口 成人
18	令和4年2月25日	上巳の節句と雛人形	京都文化博物館 林 智子
19	令和4年3月25日	柗原瓦師	京都学推進課 中西 大輔

1 1 資料の収集・整理・保存

当館では、京都に関する資料等を総合的に収集・整理・保存していますが、資料の種類と内容は次のとおりです。

- ・ 図書資料
 - 図書、逐次刊行物、パンフレット等の印刷物(写本、原稿、書簡、写真、マイクロフィルム等を含む。)及びこれに準ずる資料
- ・ 古文書
- ・ 行政文書
- ・ 写真資料
- ・ 近代文学資料
- ・ 管理委託現物資料

(1) 図書資料

本年度に収集した資料冊数は、次のとおりです。

区分		購入(冊)	寄贈(冊)	取得等(冊)	計(冊)
京都資料		255	1,360	378	1,993
京都に関連するその他の資料 (歴史、美術、宗教等)		238	706	90	1,034
官庁資料	京都関係	76	318	280	674
	国・他府県	114	137	22	273
合 計		683	2,521	770	3,974

ア 歴史・地誌

書名	著編者等
五条通建物強制疎開復元の図 千本通から鴨川、鴨川から東大路通	「戦争と銃後のくらし展・しもぎょう」実行委員会作成
戦後京都の「色」はアメリカにあった! : カラー写真が描く《オキュパイド・ジャパン》とその後	植田憲司, 衣川太一, 佐藤洋一編
山崎合戦 : 特別図録	大山崎町歴史資料館
市場が造った町 : 中世丹後国・加悦 : 故郷史の可能性を求めて	和久田薫著
洛南物語	田中進著
丹後田辺城の歴史 : クイズ&テキスト 第1巻	田辺城ガイドの会歴史クイズ作成グループ
史跡西寺跡発掘調査総括報告書	京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化財保護課編集
宇治堀家文書 (史料纂集:古文書編:51)	橋本素子, 角田朋彦, 野村朋弘校訂
律令天皇制祭祀と古代王権	榎村寛之著
日本荘園絵図聚影 釈文編 3: 中世 2	東京大学史料編纂所編
関ヶ原合戦人名事典	渡邊大門編
丹波猿樂の祖能楽の名家梅若氏 : 丹波の豪族志 賀氏(北野城主家) : 明智光秀公ゆかりの	大嶋文隆著
日本古代氏族事典 第3版	佐伯有清編
京都散歩	綿屋しば栗著
宇治市名勝総合調査調査報告書	宇治市都市整備部歴史まちづくり推進課編
東胡麻令和風土記 : 東胡麻の教科書	東胡麻文化振興会編
国絵図読解事典	小野寺淳, 平井松午編
吉田初三郎鳥瞰図集 : よみがえる100年前の日本 : 大正の広重が描いた全国名所図絵	昭文社

イ 宗教

書名	著編者等
近代日本宗教史 第1-6巻	島蘭進ほか編
日本神道史 増補新版	岡田莊司, 小林宣彦編
賀茂神主経久記 1 (賀茂別雷神社史料:3)	田中安比呂, 賀茂別雷神社史料編纂会企画・編者
祇園祭千五十年記念 中近世祇園社の研究	下坂守著

宗教文化は誰のものか：大本弾圧事件と戦後日本	永岡崇著
仏典解題事典 第3版	斎藤明ほか編
寺院内外伝承差の原理：縁起通史の試みから	中前正志著
戦前期仏教社会事業資料集成 第1-14巻, 別巻	中西直樹解題
清水寺成就院日記 初版 第6巻	清水寺史編纂委員会編
龍華蔵北蔵聖教目録	妙法院門跡編修
高山寺典籍文書綜合調査団研究報告論集 令和2年度	高山寺典籍文書綜合調査団編
中世醍醐寺の仏法と院家	永村眞著
仁和寺御経蔵聖教目録稿 4 (仁和寺史料:目録編稿 4)	国立文化財機構奈良文化財研究所編
近代真宗「女性教化」資料集成 第1-7巻	岩田真美, 中西直樹編
五山版中国禅籍叢刊 第1-12巻	椎名宏雄編
知恩院史研究の新視点 (知恩院史料編纂所報告集:1)	総本山知恩院史料編纂所編
明治期の臨済宗：宗政家と教団運営 (相国寺研究:11) (教化活動委員会研修会講義録:令和2年度)	藤田和敏著/相国寺教化活動委員会編

ウ 芸術

書名	著編者等
人の心を動かすことができなければ、芸術ではない。：連続講座「芸術は何処へ？」	高階秀爾編著/京都府立文化芸術会館企画
暮らしの意匠 (トラリんと学ぶ日本の美術 3)	京都国立博物館監修
つながるまち・ひと・とき：木津川アート10周年記念	加藤史江, 三谷智恵編集
亀岡の名宝	亀岡市文化資料館編集
はちコレ：八幡のコレクション：松花堂美術館のコレクションから：開館12年特別展	八幡市立松花堂庭園・美術館編
美術を作る・見る・語る：美術と社会のつながりを考える	森光彦, 橘凜, 田部未紗編集 (京都歴史文化施設クラスター実行委員会、京都市学校歴史博物館)
京の国宝：守り伝える日本のたから：特別展	文化庁, 京都国立博物館編
東本願寺と京都画壇 大谷大学博物館二〇二一年度特別展	大谷大学博物館編
国宝鳥獣戯画のすべて：特別展	東京国立博物館ほか編

日本画家・六人部暉峰の世界	向日市文化資料館
歴史を旅する谷口香嶠	笠岡市立竹喬美術館編
福本達雄作品集	福本達雄
堂本印象：生誕130年：特別企画展	京都府立堂本印象美術館編集
四季の由良川：小雲一志写真集	小雲一志著・写真
茶碗：今を生きる：樂歴代と時代を語る名碗	樂吉左衛門ほか編集
富本憲吉のやきもの：色とかたちが奏でる美	中ノ堂一信著
再現女性の服装1500年：京都染織技術の粋：京都染織文化協会創立80周年記念	東京美術編集
忘れられた祭り京都染織祭：恐慌・戦争・復興を駆ける	北野裕子著
上野リチ：ウィーンからきたデザイン・ファンタジー	池田祐子ほか編集（京都国立近代美術館）
雅楽のイロイロを科学する本（京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター研究報告）	田鍬智志，上野正章，アンドレア・ジョライ編
金剛宗家の能面と能装束	金剛能楽堂編集
京の三大念佛狂言：壬生・嵯峨・千本ゑんま堂	京都の文化遺産総合活性化委員会
京都女性スポーツフェスティバル：大会プログラム、2021	京都女性スポーツの会
スポーツと京都：京都・大学ミュージアム連携online 出開帳	京都・大学ミュージアム連携運営委員会事務局編集
茶書研究 第10号ほか	茶書研究会編
大江山と鬼の俳句大賞全句集	世界鬼学会
京都夢幻奇譚	礒谷義仁著
詩歌とめぐる南山城・月ヶ瀬	小西亘著

エ 社会・産業

書名	著編者等
実践!防災と協働のまちづくり：住民・企業・行政・大学で地域をつなぐ（京都文教大学地域協働研究シリーズ；4）	森正美編著
美山ボランティア連絡協議会20周年記念誌	美山町ボランティア連絡協議会，南丹市社会福祉協議会美山事務所
京都空襲：8888フライト：米軍資料からみた記録	伊藤忠夫著

ありがとうわが母校：美河小学校・美鈴小学校・有仁小学校閉校記念誌	大江地域小学校(美河小学校・美鈴小学校・有仁小学校)閉校記念誌作成委員会
京都大学建築学100年の歩み	京都大学建築学教室創立100周年記念史出版編集委員会編
福知山踊振興会40周年記念誌	40周年記念誌発行委員会編
山・鉾・屋台の祭り研究事典	福原敏男ほか編
明石博高と島津源蔵：京の近代科学技術教育の先駆者たち	「明石博高と島津源蔵—京の近代科学技術教育の先駆者たち—」編集委員会編集
FAヤマセミの会：15周年記念誌	浪江俊雄，大槻浩，児玉裕美編集
相楽医師会七十年誌	七十年誌編集委員会編
山本読書室資料仮目録，補遺	松田清編
びわ湖疏水探究紀行 工事の様子編1	琵琶湖疏水アカデミー編集
清風荘と近代の学知	松田文彦ほか編著
京都町中華倶楽部 西陣浪漫篇，室町浪漫篇	安藤美冬編
秘傳鱧料理 百菜 改訂	朝尾朋樹著
土と光の讃歌：耕す汗こそ美しい	京都土の塾編
京都喫茶店クロニクル：古都に薫るコーヒーの系譜	田中慶一著
海の京都・丹後の巨樹ものがたり	「海の京都・丹後の巨樹ものがたり」編集委員会

オ 参考図書

書名	著編者等
書物・印刷・本屋：日中韓をめぐる本の文化史	藤本幸夫編
教育現場と研究者ための著作権ガイド	上野達弘編
文化・情報の結節点としての図像：絵と言葉でひろがる近世・近代の文化圏	石上阿希，山田奨治編著
便覧図鑑年表全情報 2010-2019	日外アソシエーツ株式会社編
江戸のことば絵事典『訓蒙図彙』の世界	石上阿希著

カ 官庁資料

区分	書名	著編者等
京都	京都府議会関係例規集 令和3年6月	京都府議会事務局
	第5次亀岡市総合計画 本編，概要版	亀岡市企画管理部企画調整課編集

	農福連携でつながる地域 : 手と手を取り合って	野路文紗子作画/京都精華大学(京都国際マンガミュージアム)事業推進室編集
	宮津市障害者計画・第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画 本編, 概要版	宮津市編集
	山城の教育 令和3年度	京都府山城教育局
	ウッディ・コンテスト : 木造住宅・木製家具コンペティション : 入賞作品集 第4回	京都府
	はじめての乳がん検診 : ママの健康は家族の笑顔	来海ユウ作画/京都精華大学(京都国際マンガミュージアム)事業推進室編
	京都市生物多様性プラン : 2021-2030	京都市環境政策局環境企画部環境管理課
	八幡市立地適正化計画	八幡市都市整備部都市整備課
	京都府立農業大学校活動記録 : Activity report 2020	京都府立農業大学校
国	全国市町村要覧 令和3年版	市町村要覧編集委員会編
	新型コロナウイルス感染症が雇用・労働に及ぼした影響 (労働経済白書:令和3年版)	厚生労働省編
	国民衛生の動向 2021/2022年 (厚生指針臨時増刊:第68巻第9号)	厚生労働統計協会編
	近畿の交通・観光行政 2021	近畿運輸局広報推進委員会企画・編集

キ 古典籍

資料名	著編者等
洛陽長安御舊跡巡拜記	法界寺, 文政9(1826)
秘書花洛鑑	文化4(1807)
諸国年中行事大全	喜多川平兵衛, 享保2(1717)
繪入加茂祭礼記	丸屋善兵衛, 江戸後期
花洛銘酒鑑	東生編, 明和7(1770)
三十三間堂年代矢数帳	文化年間
北丹勝景集	麥仙城烏岬編, 安政4(1857)序

ク 雑誌・新聞等

京都関係、日本の歴史、美術工芸、伝統的芸能、官庁関係等の雑誌類及び新聞類を次のとおり収集し、所蔵しています。

区 分	総 数	継続購入数	継続寄贈・取得数
京 都 関 係	3,613	4	1,019
一般(歴史・美術・官庁等)	3,054	66	723
京 都 官 庁 関 係	898	—	259
計	7,565	70	2,001

本年度は新規タイトルとして『丹波育児院新報』（明41～42）などを収集しました。

(2) 行政文書

ア 収集

「京都府文書の保管、保存等に関する規程」第15条により永年保存文書の移管を、また、同規程第14条により有期限保存文書の引渡しを受けています。

本年度は有期限保存文書を、以下のとおり456点の行政文書を収集しました。

永年保存文書の移管		有期限保存文書の引渡し	
完 結 年 度	点数	完 結 年 度	点数
平成6年度分	1,162	平成21年度～平成27年度	372
過年度分	2,094	京都土木事務所	30
		京都学・歴彩館	7
		茶業研究所	47
合 計	3,256	合 計	456

(3) 文書の保存と複製資料の作成

ア 資料の保護

傷みの激しい文書や酸性劣化の恐れのある文書を中性紙の封筒及び専用保存箱に収納したり、データ化することにより代替物での閲覧提供を可能とすることで、文書の更なる損傷を予防するとともに、データのバックアップを行い、資料の安全な保存に努めました。

イ 複製資料の状況

資料区分	令和3年度収集			累 計(令和4年3月31日現在)		
	文書群数	マイクロフィルム (リール数)	写真帳 (冊数)	文書群数	マイクロフィルム (リール数)	写真帳 (冊数)
古 文 書	—	—	—	556	1,388	2,205
行政文書	—	—	—	9	0	917
合 計	—	—	—	565	1,388	3,122

ウ デジタル化資料

本年度末時点での、デジタル化資料のインターネット公開状況は、次のとおりです。

データベース名	画像データ	公開時期
東寺百合文書WEB	約1.9万コマ	平成26年 3月～
京の記憶アーカイブ		平成27年11月～
図書資料	約52.7万コマ	
古文書	約2.1万コマ	
写真資料	約7.9万コマ	
美術工芸品他	約0.8万コマ	
行政文書	約4.9万コマ	

(令和4年3月31日現在)

* 国文学研究資料館「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」により図書資料(古典籍)約4.7万コマを撮影(公開は次年度以降の予定)

(4) 管理委託現物資料

京都府京都文化博物館を運営する公益財団法人京都文化財団に業務委託して収集した美術工芸資料等は、5件116点で、明細は次のとおりです。

部門	資料区分	資料名	点数	区分
美術 工芸 資料	① 洋画	太田喜二郎「(ベルギー風景)」ほか	9	寄贈
	② 日本画	近藤千尋「醍醐春雪」ほか	2	寄贈
	③ 陶芸	竹中 浩「色絵椿之角盒」	1	寄贈
	④ 日本画	西久松吉雄「丹波路」ほか	4	寄贈
	⑤ 日本画	こころの京都百選	100	保管替
合 計			5件 116点	

12 調査

本年度、調査した文書は次のとおりです。

(1) 行政文書

京都府文書の保管・保存等に関する規程に基づき、各課(室)から総務調整課に引き継がれた文書(電子公文書を含む)のうち、保存期限が経過した有期限保存文書から372点を選別しました。

1 3 京都府行政文書修理事業

平成14年に都道府県行政文書として初めて国の重要文化財に指定された「京都府行政文書」（京都府立庁前年（慶応3年）から昭和21年度までの15,407点）について、適切な保存と積極的な利・活用を図るため、損傷等の修理を行いました。

今年度は明治・大正・昭和期の資料4点の修理を行ったほか、108点の資料に経常的な手当を行いました。

1 4 図書館実習・インターンシップ

(1) 図書館実習

同志社大学学生 令和3年10月19日～10月22日（4日間） 1人
令和3年10月26日～10月29日（4日間） 1人

(2) インターンシップ

今年度の受入はありませんでした。

1 5 新聞掲載等

年月日	新聞名等	見出し
令和3年 4月19日(月)	京都新聞	疫病退散の願い一堂 鍾馗の掛け軸や京の祭礼紹介 左京・歴彩館「魔よけ」企画展
令和3年 5月21日(金)	京都新聞	ソフィア 京都新聞文化会議 豊臣秀次切腹と女性の悲劇 遠藤珠紀
令和3年 5月25日(火)	カレント アウェア ネス・ポ ータル	京都府立京都学・歴彩館、「京都学デジタル資料閲覧コーナ ー」で閲覧できるデジタル資料に「賀茂別雷神社文書」が加 わったと発表
令和3年 5月26日(水)	朝日新聞	上賀茂神社資料 デジタルで公開 左京・歴彩館に閲覧端末
令和3年 6月13日(日)	産経新聞	上賀茂神社の資料 デジタル化し公開へ 京都学・歴彩館と覚書
令和3年 6月24日(木)	京都新聞	「山本読書室」公開始まる 標本記録や西南戦争通信文 左京・歴彩館、全資料のうち5千点
令和3年 7月1日(木)	毎日新聞	災厄から逃れよう にらみ利かせる「鍾馗さん」も 府立京都学・歴彩館 魔よけの資料など展示

令和3年 7月5日(月)	読売新聞	府「北山エリア」再開発 文化とにぎわい調和へ
令和3年 7月16日(金)	京都新聞	「上賀茂神社文書」デジタルで公開 中近世の神事や京の歴史記す重文 歴彩館で1600点
令和3年 8月9日(月)	京都新聞	市民版 まちかど イベント 日本名作映画上映会「小早川家の秋」
令和3年 8月27日(金)	京都新聞	「建物疎開」前の地図寄贈 近く府民に公開へ準備
令和3年 11月10日(水)	読売新聞	ホール、アリーナ計画説明 北山エリア 再開発で府
令和3年 11月20日(土)	京都新聞	醍醐寺の「桜会」考える 左京でセミナー 秀吉との関連も
令和3年 12月2日(木)	京都新聞	平安前期の遊獵と政治 左京で講演会 桓武期は山科重視
令和3年 12月4日(土)	京都新聞	Q読者に応える 北山エリア整備基本計画とは
令和3年 12月26日(日)	京都新聞	戦争記憶 市民が伝える 左京でシンポ 語り部生徒ら話す
令和4年 1月5日(水)	京都新聞	上賀茂神社の古文書を研究「史料編纂会」 鎌倉期の記録収めた史料発刊 承久の乱、蹴鞠作法など克明
令和4年 1月13日(木)	朝日新聞 (夕刊)	テーブルトーク 景観の見方を歴史地理学から提唱する京大名誉教授 金田章裕さん
令和4年 1月27日(木)	Nikkei Style	城や都の場所はなぜ変わった？ 古地図や地形で国土構造を読み解きたどる面白さ 『地形で読む日本』金田章裕 (日本経済新聞出版 桜井保幸 7:47 配信)
令和4年 2月9日(水)	京都新聞	地域プラス 平安復古へ儀式を「取捨選択」 江戸時代の京都御所再建「国際研究集会」で最新報告
令和4年 2月16日(水)	京都新聞	文学の歩みや交遊録 「与謝野鉄幹・晶子、吉井勇とその時代」左京で展示

令和4年 2月25日(金)	京都新聞	ソフィア 京都新聞文化会議 中井家文書と京都御所造営 藤井恵介 中井家文書などを議論する国際研究集会在が2021年12月18日、京都府立京都学・歴彩館で開かれた。
令和4年 3月22日(火)	京都新聞	欧州宗教情勢 明治政府に報告 歴彩館 初の駐欧外交官 岩倉具視宛て書簡発見

16 ウェブ提供サービスのまとめ

コンテンツ		統計項目		
ホームページ(京都府)		閲覧数(トップページ)	137,880	
		閲覧数(全ページ)	240,702	
ホームページ(指定管理者)		閲覧数(トップページ)	83,590	
		閲覧数(全ページ)	334,615	
京都府立京都学・歴彩館デジタルアーカイブ		閲覧数(トップページ)	60,874	
		閲覧数(全ページ)	655,114	
		書誌アクセス数	140,136	
		画像ダウンロード数	80,888	
	古文書	資料群	提供件数	1,226
			新規登録件数	0
		目録	提供件数	140,813
			うち提供画像数	22,415
			新規登録件数	0
			新規登録画像数	0
	行政文書 (国立公文書館デジタルアーカイブへも連携)	簿冊	提供件数	86,060
			新規登録件数	5,463
件名		提供件数	627,742	
		うち提供画像数	86,646	
		新規登録件数	41	
		新規登録画像数	0	

京都府立京都学・ 歴彩館デジタル アーカイブ	写真資料	資料群	提供件数	14
			新規登録件数	0
		目録	提供件数	132,084
			うち提供画像数	79,685
			新規登録件数	0
			新規登録画像数	0
	近代文学資料	提供件数	3,641	
		提供画像数	0	
	古典籍・図書	提供タイトル数	3,041	
		うち提供画像数	562,442	
		新規登録タイトル数	312	
		新規登録画像数	76,204	
	行政文書寺院関連情報		提供件数	7,997
	京都雑誌記事 論文等	雑誌記事	提供件数	45,592
			新規登録件数	12,590
		京都府関係パ ンフレット	提供件数	2,734
新規登録件数			114	
京都府百年の年表		提供件数	20,645	
京都府公報目次		提供件数	60,344	
		新規登録件数	0	
東寺百合文書 WEB		閲覧数（トップページ）	—	
		閲覧数（全ページ）	—	
		提供画像数	—	
		新規登録画像数	—	
3館合同蔵書検索システム （京都府図書館総合目録ネットワークへも連携） *1：令和3年6月から令和4年3月までの集計		閲覧数（トップページ）*1	157,336	
		閲覧数（全ページ）*1	1,172,438	
		検索数*1	275,063	
		詳細書誌閲覧数*1	587,343	

	京都学・歴彩館所蔵 (国立国会図書館サーチへも 連携)	提供タイトル数	272,919
		新規登録タイトル数	3,235
CiNi iBooks (国立情報学研究所との連携)		提供タイトル数	6,211
		新規登録タイトル数	3,060
新古典籍総合目録データベース(国文学研究資料 館との連携)		提供タイトル数	291
		提供画像数	30,266
		新規登録タイトル数	291
		新規登録画像数	30,266
国立国会図書館 レファレンス協 同データベース	レファレンス事例	登録事例数	607
		うち新規登録事例数	57
		事例アクセス数	228,227
	調べ方マニュアル	登録事例数	8
		うち新規登録事例数	0
		事例アクセス数	1,468
Twitter	全体	新規投稿数	233
		インプレッション	819,845
		エンゲージ	27,362
		エンゲージ率	3.3%
	京都あれこれ	新規投稿数	59
		インプレッション	309,510
		エンゲージ	14,432
		エンゲージ率	4.7%
	POP を使った所蔵資料の紹介	新規投稿数	36
		インプレッション	57,759
		エンゲージ	1,991
		エンゲージ率	3.4%

Facebook	全体	新規投稿数	215
		インプレッション	34,130
		エンゲージ	3,271
		エンゲージ率	9.6%
	京都あれこれ	新規投稿数	59
		インプレッション	10,417
		エンゲージ	1,333
		エンゲージ率	12.8%
	POPを使った所蔵資料の紹介	新規投稿数	36
		インプレッション	4,548
		エンゲージ	361
		エンゲージ率	7.9%

令和3年4月1日～令和4年3月31日

* 統計項目の語句について

・インプレッション	投稿がユーザーの画面（タイムライン）に表示された回数
・エンゲージ	投稿に対して何かしらの反応（「いいね」や「RT(リツイート)」など）を示した回数
・エンゲージ率	$\text{エンゲージ数} \div \text{インプレッション数} \times 100$

17 施設の状況

○令和4年5月1日現在（京都学・歴彩館）

敷地面積	116,932.79 m ²		
建物面積	6,716.04 m ²	延	23,940.68 m ²
建設費	約100億円		
構造	鉄骨造 地上4階 地下2階		

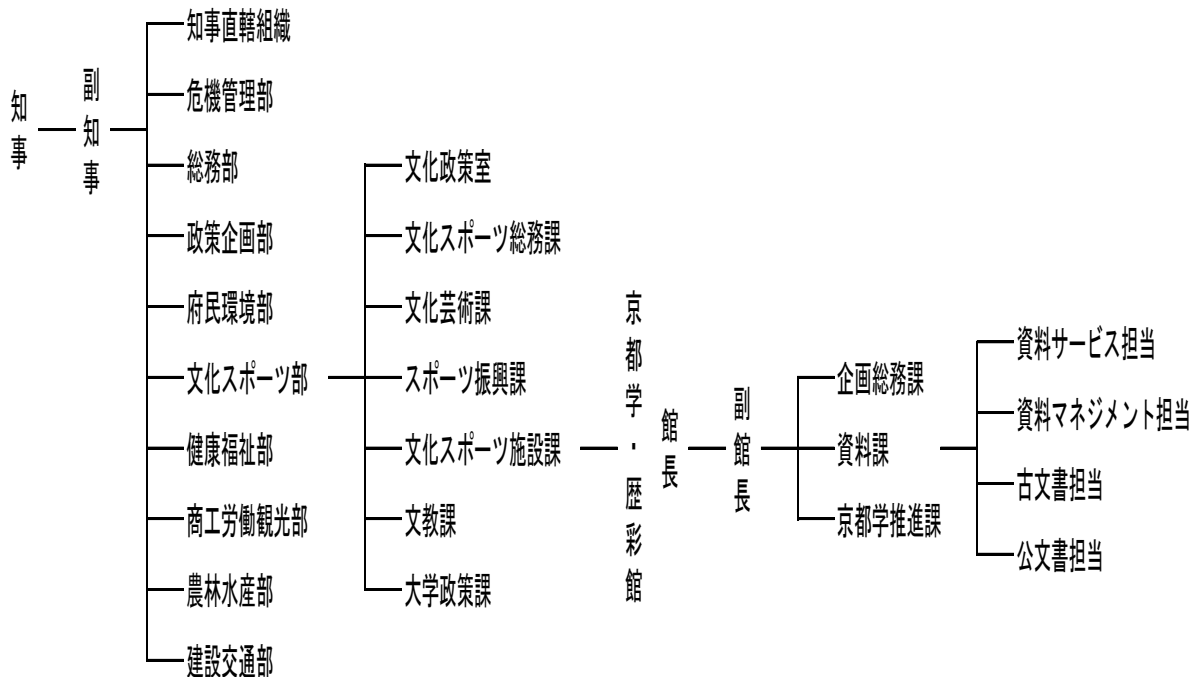
主要室の規模

1 階		2 階		地下1階		地下2階	
学習室	160 m ²	図書閲覧室	1,259 m ²	書庫・収蔵庫	3,447 m ²	書庫・収蔵庫	3,517 m ²
展示室	290 m ²	(開架書庫含)					
大ホール	511 m ²	府大閲覧室	2,012 m ²	撮影室	73 m ²		
小ホール	199 m ²	(書庫含)					
京都学ラウンジ	151 m ²						
京都学研究室	142 m ²						
府大書庫等	177 m ²						

18 組織・職員数・業務分担・予算

(1) 組織

○令和4年5月1日現在



(2) 職員数

○令和4年5月1日現在（京都学・歴彩館）

	職 員（再任用を含む）	会計年度任用職員等
館 長	-	1
顧 問	-	1
副館長	2	-
企画総務課	5(※)	1
資料課	24	13
京都学推進課	3(※)	3
計	34	19

(※)副館長は、それぞれ企画総務課長事務取扱・京都学推進課長事務取扱であるが、再掲していない。

(3) 業務分担

ア 企画総務課

- 1 館運営等に関する事。
- 2 館発信事業の推進等に関する事。
- 3 人事、服務、給与及び勤務条件等に関する事。
- 4 連絡調整に関する事。
- 5 予算、決算及び会計事務に関する事。
- 6 備品及び物品の調達及び保管に関する事。
- 7 財産の管理及び庁舎の管理に関する事。
- 8 (公財)京都文化財団への業務委託等に関する事。
- 9 その他庶務及び他課の所管に属さない事。
- 10 保安業務に関する事。

イ 資料課

- 1 各種資料の調査・選別・収集並びに整理・保存に関する事。
- 2 各種資料の閲覧、利用及びレファレンスに関する事。
- 3 各種資料の普及並びに他機関等との連携に関する事。
- 4 担当業務の総括及び関係機関との連絡調整に関する事。

ウ 京都学推進課

- 1 京都の歴史や文化に関する研究の推進に関する事。

- 2 府内の大学等との連携による府域の文化資源の共同研究に関すること。
- 3 国内外の大学等との連携による研究交流及び研究支援に関すること。
- 4 海外の若手研究者の招聘及び研究支援に関すること。
- 5 京都資料のデジタル閲覧に関すること。
- 6 各種講座、シンポジウム、セミナー等の開催に関すること。
- 7 研究成果の発信及び交流事業に関すること。
- 8 府内自治体との共同による府域の文化の紹介に関すること。

(4) 予算状況 (令和4年度当初予算)

(単位：千円)

区 分	予算額	説 明
一般活動費(京都学・歴彩館)	27,265	一般管理運営に要する経費
京都学・歴彩館資料保存活用事業費	64,468	
重要文化財京都府行政文書修理事業費	(4,461)	京都府行政文書の修理・補修費用
京都学・歴彩館展示室運営事業費	(3,290)	美術工芸品や貴重な文書資料等の優品を展示室において展示
文化資料業務委託事業費	(56,717)	美術・工芸、伝統産業の現物資料の保存・展示
京都学・歴彩館統合情報システム運営費	33,619	所蔵資料の検索を容易にする統合情報システムの運用
国際京都学活動推進事業費	10,535	京都の歴史、文化に関するセミナー、講座を実施し、国内外の大学や研究機関との研究ネットワークを構築
計	135,887	

19 令和3年度の主な活動

3. 4. 13 資料に親しむ会「画譜に親しむ」
3. 4. 16 京都府立大学文学部欧米言語文化学科ガイダンス・閲覧受入 (10/18)
3. 4. 25 新型コロナウイルス感染拡大防止のため休館(～5/31)
3. 5. 13 賀茂別雷神社所蔵資料のデジタル画像公開の覚書締結
3. 6. 17 図書館司書専門講座派遣(～6/30)
3. 7. 1 開館時間制限を平日19時まで緩和
3. 7. 13 資料に親しむ会「写真でみる東京オリンピック前後の京都」
3. 7. 27 寺子屋講座「和本を作ろう！」
3. 7. 27 京都を学ぶセミナー「洛東編」第1回開催

- 3. 8. 10 寺子屋講座「歴彩館でボードゲームを楽しもう！」
- 3. 8. 20 新型コロナウイルス感染拡大防止のため休館(～9/30)
- 3. 9 「伏見の文化資源」共同研究会の報告書作成
- 3. 9. 15 日本名作映画上映会 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- 3. 10. 12 資料に親しむ会「終戦直後の資料に親しむ」
- 3. 10. 14 天橋立世界遺産講座開始
- 3. 10. 17 京都を学ぶセミナー「洛東編」第2回開催
- 3. 10. 19 図書館実習生受入(同志社大学)(～10/22、10/26～10/29)
- 3. 10. 24 京都精華大学見学受入
- 3. 11. 2 京都を学ぶセミナー「洛東編」第3回開催
- 3. 11. 5 京都府立大学文学部教員向け収蔵庫見学受入(11/10、11/11)
- 3. 11. 6 京都府立鴨沂高等学校の土曜授業「総合的な探究の時間・歴史文化体験」を実施(12/11)
- 3. 11. 9 資料に親しむ会「江戸時代のレシピ」
- 3. 11. 17 京都を学ぶセミナー「洛東編」第4回開催
- 3. 12. 7 日本名作映画上映会開催
- 3. 12. 11 府大生∞歴彩館 コラボで探る京都学ー京都府立大学の学生・大学院生が企画した歴彩館所蔵資料展ー(～R4. 1/9)
- 3. 12. 13 京都を学ぶセミナー「洛東編」第5回開催
- 3. 12. 14 資料に親しむ会「渋沢栄一ゆかりの資料に親しむ」
- 3. 12. 18 第2回 国際研究集会「御所(宮殿)・邸宅造営関係資料の地脈と新天地」開催
- 3. 12. 25 地域の歴史を学び未来へ伝えるシンポジウム「戦争の記憶を記録し、未来へ伝える」
- 4. 1. 11 資料に親しむ会「旧制中学校とスポーツ」
- 4. 1. 13 京都ノートルダム女子大学見学受入
- 4. 1. 19 京都を学ぶセミナー「洛東編」第6回開催
- 4. 2. 5 陽明文庫講座 新型コロナウイルス感染拡大により次年度に延期
- 4. 2. 8 資料に親しむ会「映画館の上映ニュースに親しむ」
- 4. 2. 22 京都を学ぶセミナー「洛東編」第7回開催
- 4. 3. 8 資料に親しむ会「画譜・図案集に親しむ」
- 4. 3. 16 京都府文化賞奨励賞受賞記念 木ノ下裕ースペシャルトーク 開催
- 4. 3. 22 『京都学・歴彩館紀要 vol. 5』発刊
- 4. 3. 24 『京都を学ぶ【伏見編】』刊行

20 沿革

【(旧)総合資料館】

- 昭和 34. 34 年度予算に調査・準備費を計上
35. 6. 6 「建設のための懇話会」を設置
36. 12. 8 起工式
37. 11. 10 定礎式
38. 10. 28 設置条例制定・施行（京都府立総合資料館条例・昭和 38 年条例第 29 号）
38. 11. 15 開館式及び祝賀会を挙げる。翌 16 日から閲覧業務等開始（庶務部に庶務係・経理係、資料部に展示係・資料係、図書部に収書係・目録係・閲覧第一係・閲覧第二係・閲覧第三係を置く。3 部 9 係）
39. 2. 21 文献資料の複写業務を開始
39. 4. 1 機構改革（係を課とし、3 部 9 課）
39. 11. 14 「京都府立総合資料館友の会」発足
40. 4 京都府開庁 100 年を記念して京都府百年史を編さんすることとなり、事業を開始
41. 6 民謡調査を開始
42. 8. 11 「東寺百合文書」を受入れ、整理・補修業務を開始
43. 4. 23 京都府百年史編さん事業の本格化に伴い百年史編さん室を設置（3 部 1 室 9 課）
43. 11 昔話調査を開始
45. 4 『京都新聞』（明治 18 年～昭和 44 年）のマイクロフィルム作成事業を開始
45. 8. 6 「古文書講習会」を開始
45. 8. 11 「東寺百合文書」及びその他の古文書の整理・保存事業を進めるため資料部に古文書課を設置するとともに、組織を再編（庶務部に庶務課、資料部に資料課・古文書課、図書部に整理課・閲覧課、百年史編さん室の 3 部 1 室 5 課）
45. 9. 22 「館蔵品陳列場」（現・2 階展示室）を開設
45. 12 資料の寄託制度を開始
46. 1. 1 『資料館だより』創刊
46. 6 新聞マイクロフィルム版等の閲覧・複写業務を開始
46. 7. 15 第 2 収蔵庫完成（鉄筋コンクリート 2 階建 延 274. 76 m²）
46. 7 『公開特許公報』『公開実用新案公報』の閲覧業務を開始
47. 3. 31 『資料館紀要』創刊

- 47. 6. 1 京都府百年史編さん事業完了のため、百年史編さん室を廃止。同時に、当館に移管されることになった京都府庁文書を中心に関係資料を収集・整理するため、資料部に行政文書課を設置（3部6課）
- 48. 3. 30 第3収蔵庫完成（鉄筋コンクリート2階建、恒温恒湿設備、延 1702. 18 m²）
- 48. 6. 16 部制を廃止し、次長を置く。また、組織も6課に再編するとともに、各課に資料主任を置く。（庶務課（庶務係、経理係）、文献第一課、文献第二課、文化資料課、古文書課、行政文書課の6課2係）
- 48. 11. 15 開館10周年・新収蔵庫竣工記念式典を開催
- 48. 12 東寺観智院金剛蔵聖教調査を開始
- 49. 4 有形民俗資料調査を開始
- 49. 8 教科書を収集
- 51. 1 「京の百景」を受入れ
- 51. 5. 26 組織を整理・統合（庶務課（庶務係、経理係）、文献課、文化資料課、歴史資料課の4課2係）
- 51. 1 視覚障害者・身体障害者のため、玄関スロープ設置等の施設整備に着手
- 52. 3 府内市町村行政文書の保存状況調査を開始
- 52. 4 古文書の公開を開始
- 52. 1 古文書所在情報調査を開始
- 53. 3 府内市町村行政文書の保存状況調査を開始
- 55. 1 「東寺百合文書」の公開を開始
- 55. 4 「東寺百合文書」のマイクロ化事業を開始
- 55. 6. 6 「東寺百合文書」が重要文化財に指定される
- 56. 4 近世文書マイクロ写真版の閲覧を開始
- 56. 6. 9 「東寺観智院伝来文書典籍類」が重要文化財に指定される
- 56. 9. 10 第1回「古文書教室」を開催
- 57. 4 古文書センター推進事業に着手
- 57. 7. 4 大閲覧室、軽読書室、学習室、文書閲覧室の日曜日開室を実施し、毎月20日を休室日とする。
- 58. 4 「東寺百合文書」の第2次修理を開始
- 58. 4. 19 「軽読書室」を閉鎖
- 58. 5. 18 「京都府行政情報資料センター」を開設
大閲覧室内に「軽読書コーナー」を設置
- 58. 10. 14 開館20周年記念式典を開催。翌15日に記念講演会を開催
- 59. 4. 1 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会に加入
- 59. 4. 14 「革嶋家文書」及び「袈裟禪文銅鐸」が京都府指定文化財に指定される
- 60. 5. 16 府内市町村図書館等を窓口とする館蔵図書のコピー業務を開始

- 61. 7. 1 国立国会図書館所蔵図書の見覧利用サービスを開始
- 62. 5. 12 「古文書相談」を開始
- 63. 3. 29 美術工芸・歴史民俗等の現物資料の収集、保存及び展示業務を京都府京都文化博物館（昭和 63 年 10 月開館）を運営する財団法人京都文化財団に委託するため、総合資料館条例一部改正条例（昭和 63 年条例第 3 号）を制定公布
- 63. 4. 14 ブック・ディテクション・システム（図書持出防止装置）を設置
- 63. 4. 18 文化資料課を廃止（庶務課（庶務係、経理係）、文献課、歴史資料課の 3 課 2 係）
美術工芸、歴史民俗等の現物資料の収集、保存及び展示業務を財団法人京都文化財団に委託
- 63. 9. 30 京都府京都文化博物館の開館に伴い、「展示室」を廃止
「京都府行政情報資料センター」を廃止
- 63. 10. 1 京都府情報公開条例の施行に伴い、「府政情報コーナー」を設置
- 平成元. 4 貴重書のマイクロフィルム作成事業を開始
廃止した展示室の書庫・文書庫への改修など収蔵施設の整備を実施
- 元. 10. 20 第 1 回「文化講座」を開催
- 2. 10. 8 古文書のマイクロフィルム公開を開始
- 3. 5 明治期京都府庁文書（永年文書）の緊急補修事業を開始
- 4. 4. 1 日本図書館協会に再加入
- 4. 7. 1 京都府図書館等連絡協議会に加盟する図書館等との資料貸借業務を開始
- 5. 4. 1 定例休館日を毎月 20 日から毎月第 2 水曜日に変更
- 5. 5. 20 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会近畿部会に設立加入
- 5. 11. 7 開館 30 周年記念事業「北山まつり」を開催
- 6. 6. 4 「特別資料室」を開設し、吉田文庫を公開
- 9. 4 京都府立図書館の貴重書デジタル画像作成に資料提供
- 9. 6. 30 「東寺百合文書」が国宝に指定される
- 10. 3. 31 「京都府知的所有権センター」の開設により、「特許資料室」を閉鎖
- 10. 12 閲覧可能な古文書の所在情報調査を開始
- 11. 4 京都府 20 世紀歴史資料保存事業を開始
- 12. 4 京都府 20 世紀資料整理事業を開始
- 12. 9. 30 「特別資料室」を閉鎖
- 12. 10. 1 京都府立図書館への図書資料の一部移管作業、館内施設整備等のため、大閲覧室及び学習室を休室
- 12. 12. 28 文書閲覧室を含め全館休館
- 13. 3. 23 「京都府行政文書」が府指定有形文化財に指定される

13. 5. 11 京都府立図書館の新築開館に合わせ、当館も再開館（大閲覧室を図書閲覧室に名称変更、文書閲覧室を4階から3階へ移設、図書検索・貴重書画像閲覧の端末設置、木曜講座の開催等）
13. 7. 2 京都府図書館総合目録ネットワークシステムによる相互貸借を開始
13. 10. 9 国立国会図書館総合目録ネットワークに参加
14. 5. 23 「総合資料館府民講座」を開始
14. 6. 26 「京都府行政文書」が重要文化財に指定される
14. 7. 19 ホームページを開設
14. 11. 26 「古文書解読講座」を開始
14. 12 「京の文化振興プラン（その1）－京都府が所蔵・保管する貴重な資料の活用方策－」策定
15. 5. 29 「革嶋家文書」が重要文化財に指定される
15. 11. 15 開館40周年を迎える
16. 3. 25 東寺百合文書翻刻史料集第1巻を刊行。記念シンポジウムを開催
16. 4. 1 「総合資料館所蔵資料データベース－京都北山アーカイブズ－」の公開開始
19. 12 総合資料館あり方検討プラン策定
21. 1 総合資料館基本構想（案）取りまとめ
21. 3. 24 古久保家文書が府指定有形文化財に指定
21. 3. 27 府立大学、府立植物園、府立総合資料館の3機関が包括協定を締結
21. 8. 25 「古文書入門教室」を開始
21. 9. 10 「歴史資料カレッジ」を開始
21. 10 北山文化環境ゾーン整備推進委員会による「北山文化環境ゾーン整備推進についての検討報告」公表
21. 10. 17 植物園、府立大学と共同で包括協定締結記念事業「北山から未来へ」
～11. 26 を開催
22. 5 「北山文化環境ゾーン整備委員会における検討状況」公表
23. 7. 1 画像データ閲覧システム「京の記憶ライブラリ」を公開
23. 7. 22 京都府新総合資料館（仮称）公募型設計競技第1次審査の結果公表
23. 10. 14 京都府新総合資料館（仮称）公募型設計競技の結果公表
23. 11. 16 新資料館設計協議結果展
～22
24. 5. 16 国際京都学センターの開設準備のための府立大学と総合資料館の共同研究（ACTR）を開始
24. 10. 2 国際京都学センターの開設に向けて「京都学へのいざない講座」を開始
24. 12 新総合資料館（仮称）建築工事の実施設計を策定

- 25. 5. 21 館所蔵の国宝「東寺百合文書」がユネスコ記憶遺産の登録候補として日本ユネスコ国内委員会から推薦決定
- 25. 7. 4 新総合資料館（仮称）建築工事契約・着工
- 25. 11. 15 開館 50 周年を迎える
- 25. 11. 16 開館 50 周年記念シンポジウムを開催
- 26. 3. 3 「東寺百合文書WEB」公開開始
- 26. 3 日本ユネスコ国内委員会から記憶遺産登録に向けての推薦書をユネスコへ提出
- 26. 6. 12 「東寺百合文書」が日本ユネスコ国内委員会より世界記憶遺産登録候補として選定
- 26. 11. 7 Library of the Year 2014 大賞受賞
- 27. 8. 1 文化資源発掘プロジェクトによる共同研究の開始
- 27. 10. 10 「東寺百合文書」がユネスコ世界記憶遺産に登録
- 27. 11. 10 「京の記憶アーカイブ」公開開始
- 27. 11. 12 「国立国会図書館デジタル化資料送信サービス」開始
- 28. 7. 8 京都府新総合資料館（仮称）棟 引渡
- 28. 9. 13 京都府立総合資料館 閉館

【京都学・歴彩館】

- 28. 12. 1 京都府立京都学・歴彩館 条例施行
- 28. 12. 23 京都府立京都学・歴彩館 一部オープン
- 29. 1. 27 「京都を学ぶセミナー」を開始
- 29. 2 公益財団法人 陽明文庫所蔵資料のデジタル画像の収集及び館内公開に関する覚書締結
- 29. 4. 28 京都府立京都学・歴彩館 グランドオープン
陽明文庫デジタル画像閲覧を開始
- 29. 7 海外若手研究員に係る世界の主要な日本文化研究機関との連携及び覚書締結開始（令 3. 3 月末現在 計 7（海外 4・国内 3）機関）
- 29. 7. 6 「京都学ラウンジミニ講座」を開始
- 29. 12～ 京都学・歴彩館への京都府立大学文学部移転
- 29. 12. 6 「古文書ヨル学会－入門編－」を開始
- 29. 12. 12 「資料に親しむ会」を開始
- 30. 1. 9 海外若手研究員 受入開始
- 30. 2. 16 「海外若手研究員による府民向けセミナー」を開始
- 30. 5. 25 「京都の出版社に聞く」を開始

- 30.10.1 京都学ラウンジ倶楽部の発足
- 30.11.10 「陽明文庫講座」を開始
- 30.12.4 独立行政法人国際交流基金京都支部と共催の日本名作映画上映会を開始
- 31.3.23 京都府文化賞受賞記念の公演等開始
- 31.4.1 人間文化研究機構総合地球研究所との学術交流・協力に関する基本協定書の締結
- 令和元.6.1 府民協働連続講座開始
 - 2.4.1 一部指定管理者制度を導入
 - 2.4.1 北山プロムナード供用開始
- 2.8.24 文部科学大臣から科学研究費補助金取扱規程第2条に規定する研究機関として指定される【登録機関の名称：京都府立京都学・歴彩館（京都学推進課）】
- 3.5.13 賀茂別雷神社所蔵資料のデジタル画像公開の覚書締結

(参考資料)

館蔵資料の国宝等指定一覧（令和4年3月31日現在）

No.	種別	資料名	点数等	概要
1	国宝 (平9.6.30 指定)	東寺百合文書	※ 18,646点	京都市南区の東寺（教王護国寺）に伝えられた文書で、奈良時代から江戸時代初期に至る約1,000年間の文書群です。 内容は宗教活動、寺院経済、荘園経営など中世史研究等の基本資料で、昭和42年、文化財保護を目的に京都府が購入しました。
	ユネスコ 「世界の記憶」 (平27.10.10 登録)			
2	重要文化財 (昭56.6.9 指定)	東寺観智院伝来 文書典籍類	57点	東寺の子院である観智院の金剛蔵に伝わった中世資料で、東寺百合文書同様、貴重な学術資料です。なお、本典籍類は同文書と同時に購入しました。
3	重要文化財 (平14.6.26 指定)	京都府行政文書	15,407点	京都府が行政を行うために管理保存してきた京都府の公文書のうち、京都府立庁前年の慶応3(1867)年から昭和21年度までの文書で、近代の政治、歴史、文化を知り得る貴重な資料です。
4	重要文化財 (平15.5.29 指定)	革嶋家文書	2,459通	京都市西京区川島の革嶋家に伝来した文書で、昭和49年、故革嶋廉三郎氏から寄贈されたものです。鎌倉時代から大正年間の約800年に及ぶ文書群で、革嶋家の歴史を物語るものです。
5	重要文化財 (昭43.4.25 指定)	池 大雅 「柳下童子図 屏風」	1点	江戸時代の画家で、日本の文人画の大成者・池大雅が描いた屏風絵です。平成7年、財団法人池大雅美術館（佐々木もと子館長）から京都府に寄贈された73件、85点に及ぶ大雅の絵画、書跡、関係資料のうちの1点です。
6	府指定有形 文化財 (昭59.4.14 指定)	袈裟襷文銅鐸	4口	昭和38年に、京都市右京区梅ヶ畑の宅地造成工事現場から発見された銅鐸で、昭和42年に京都府の所蔵になりました。型式の古さ、「入れ子」の状態での発見、同範鐸の存在など、学術的価値の高いものです。
7	府指定有形 文化財 (平21.3.24 指定)	古久保家文書	266点	寛文8(1668)年以来、代々上京下西陣組の町代を勤めた古久保家に伝わった古文書です。町代は江戸幕府の京都町奉行所と京都市中の町との間の諸事務を勤めました。御触留、町代の公事番所勤番日記等があります。

※東寺百合文書：18,705点のうち、国宝が18,646点、重要文化財が57点（東寺観智院伝来文書典籍類）、未指定が2点。

京都府立京都学・歴彩館資料収集方針

令和2年4月1日

京都に関する資料等を収集し、保存し、及び公開することにより、京都における文化の発展及び学術の振興に資するため、以下の収集方針を定める。

収集した資料は、適切な保存環境のもとで永年保存し、後世に伝える。また、収集した資料を利用に供し、デジタル化をはじめとする媒体変換等の手段を講じる。

なお、行政文書の移管又は引渡しなどは、別の規程等による。

Ⅰ 図書資料等収集方針

1 基本方針

京都に関する専門図書館機能を十分に発揮するために必要な資料を収集する。資料の収集は、購入及び寄贈等による。非市販資料も対象とする。

2 収集資料の範囲と種類

(1) 収集する資料の範囲は、次のとおりとする。

① 京都に関する資料

- ア 現在の京都府の行政区域内に関する内容を含む資料を網羅的に収集する。
- イ 「京都府文書の保管、保存等に関する規程」に基づき当館に送付される資料をはじめとする京都府が発行する資料を収集する。
- ウ 京都府内の自治体が発行する資料を収集する。
- エ 京都府内の団体や個人が発行する資料について、収集に努める。

② 京都に関する調査研究に必要な資料

- ア 京都の位置づけを理解するために必要な資料を収集する。
- イ 所蔵する図書資料・古典籍・古文書・公文書等について理解するために必要な資料及び館の運営に必要な資料を選択的に収集する。
- ウ 古典籍は、資料の来歴も考慮して選択的に収集する。
- エ 収集にあたっては、京都府立大学附属図書館及び京都府立図書館蔵書に留意する。

(2) 収集する資料の種類は、次のとおりとする。

- ア 図書
- イ 雑誌・新聞及びフリーペーパー
- ウ 近世以前の古典籍、漢籍等の古書
- エ その他必要な資料

II 古文書収集方針

1 基本方針

地域の記憶となる京都に関する歴史資料を収集する。原本の受入は寄附・購入を基本とする。寄託は原則受けない。

2 収集資料の範囲と種類

(1) 収集する資料の範囲は、次のとおりとする。

- ア 幕府・藩・公家・寺社等の領主、大庄屋等の文書、仲々間（同業組合）文書、組合・会社文書等、広範な地域・組織に関わる文書を収集する。
- イ 町文書・村文書など市町村が収集した方が適当と思われる資料は市町村と調整する。
- ウ 個人的な資料（私的書状・書類・日記等）は基本的に収集対象としないが、京都の歴史に関わると評価できる場合は収集する。

(2) 収集する資料の種類は、次のとおりとする。

原本の受入だけでなく、複製物（画像・写真等）での収集を行う。

III 写真資料等収集方針

1 基本方針

京都の歴史・文化・社会を明らかにする上で記録性が高く歴史的価値を有すると認められる写真・映像資料を収集する。芸術性を追求した作家の作品は収集しない。

2 収集資料の範囲と種類

(1) 収集する資料の範囲は、次のとおりとする。

- ア 京都の社寺・名所・祭礼・風俗・街並み・建物・風景・人物・事件等を撮影したもので、京都の歴史・文化・社会を明らかにする上で記録性が高く歴史的価値を有すると認められる写真・映像資料
- イ 日本の歴史的な風景・資料等で特に記録性が高く歴史的価値を有すると認められる写真・映像資料

(2) 収集する資料の種類は、次のとおりとする。

希少性が高いガラス乾板を中心として収集する。

業 務 概 要

—令和3年度のまとめ—

発 行 日 令和4年7月

編集・発行 京都府立京都学・歴彩館

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町 1-29

電 話 075-723-4831

F A X 075-791-9466

H P <http://www.pref.kyoto.jp/rekisaikan/index.html>

E-mail rekisaikan-kikaku@pref.kyoto.lg.jp